

多度津町

男女共同参画に関する住民アンケート

— 調査結果報告書 —

令和7年12月

多度津町 住民環境課

<目次>

I 調査概要	1
II 調査結果	2
1 自身について	
問1 性別	2
問2 年齢	2
問3 家族構成	3
問4 結婚の経験	4
2 男女平等について	
問5 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方	5
問6 家庭における男性との役割分担	6
問7 現状の男性との役割分担についての考え	7
問8-1 家庭生活での男女平等	8
問8-2 職場や職業での男女平等	8
問8-3 学校教育における男女平等	9
問8-4 政治の場における男女平等	9
問8-5 法律や制度における男女平等	10
問8-6 社会通念・慣習しきたりなどにおける男女平等	10
問8-7 自治会・PTA等地域活動の場における男女平等	11
問8-8 災害時の避難所・避難場所等における男女平等	11
3 ワーク・ライフ・バランスについて	
問9 女性が仕事を持つことについての考え方	12
問10 現在、働いているか	12
問10-1 働き方	13
問10-2 男女別でみた育児休業・介護休業の取得しやすさ	13
問10-3 職場における男女間の格差	14
問11 「仕事」「家庭」「プライベート」の優先度(理想と現実)	15
問12 女性が長く働き続ける上での困難や障壁	16

4 あらゆる暴力の根絶について

問13 ドメスティック・バイオレンスの被害経験	17
問14 被害者が相談しやすくするために何が必要か	20
問15 ドメスティック・バイオレンス被害をなくすための対策	21
問16 性被害・性暴力をなくすための対策	22

5 貧困等生活上の困難に対する支援について

問17 貧困の原因について	23
問18 困難な問題を抱える世帯等に対する支援	23

6 女性の視点からの防災の取組について

問19 男女共同参画の視点から必要だと考える防災の取組	24
-----------------------------	----

7 男女共同参画社会の実現にむけて

問20 男女共同参画社会に向けた取組について	25
------------------------	----

8 キャッチフレーズの募集結果

9 その他の自由意見

I 調査概要

1 調査の目的

「第4次たどつ男女共同参画プラン」を策定するにあたり、男女共同参画社会づくりに関する住民の意見を聴取し、計画策定の基礎資料として活用することを目的として、調査を実施した。

2 調査期間

令和7年1月14日(火)～令和7年2月28日(金)

※ 集計には、令和7年3月3日(月)までの返送票を含めた

3 調査対象

18歳以上の 町民 1,000 人

4 調査方法

調査票は郵送で配布した。回答は、郵送での提出又は調査票に記載した URL や二次元コードからの WEB 回答により回収した。

5 回答状況

配布数	総回答数	
	紙	WEB
1,000	322	100
	合計 422	

6 調査結果の見方

- 回答割合は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答式の質問においては、回答割合を合計しても100%にならない場合がある。また、複数回答式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の割合を合計すると 100%を超える場合がある。
- 図表及びコメントで、選択肢の語句等を一部簡略化等している場合がある。
- 男女別のグラフでは、性別の無回答分を除いている。

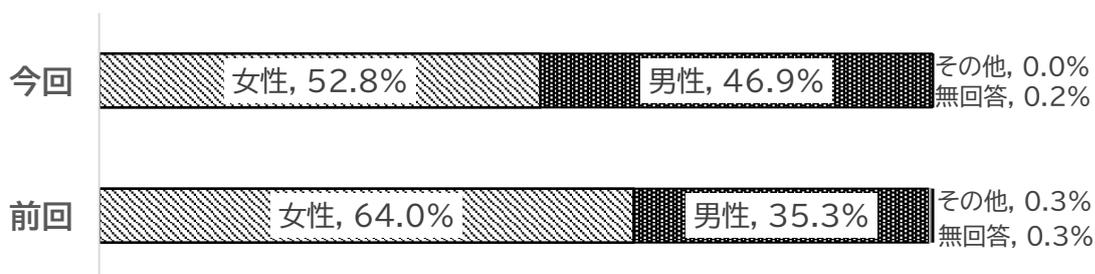
Ⅱ 調査結果

1 自身について

問1 性別

- ▶ 「女性」が223名(52.8%)、「男性」が198名(46.9%)、「無回答」が1名(0.2%)となっており、前回調査(令和2年度調査。以下同じ。)と比較して男性の回答割合が増加しました。

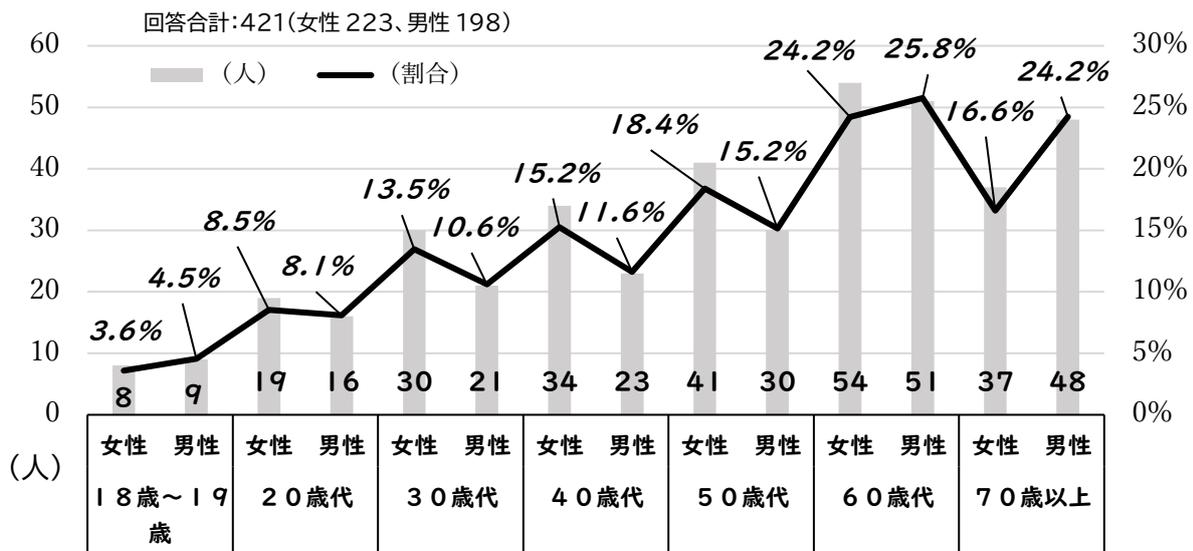
性別	回答者数(A)	回答者数に対する割合	対象者数(B)	回答率(A)/(B)
女性	223	52.8%	500	44.6%
男性	198	46.9%	500	39.6%
その他	0	0%	—	—
無回答	1	0.2%	—	—
合計	422	100%	1000	42.2%



問2 年齢

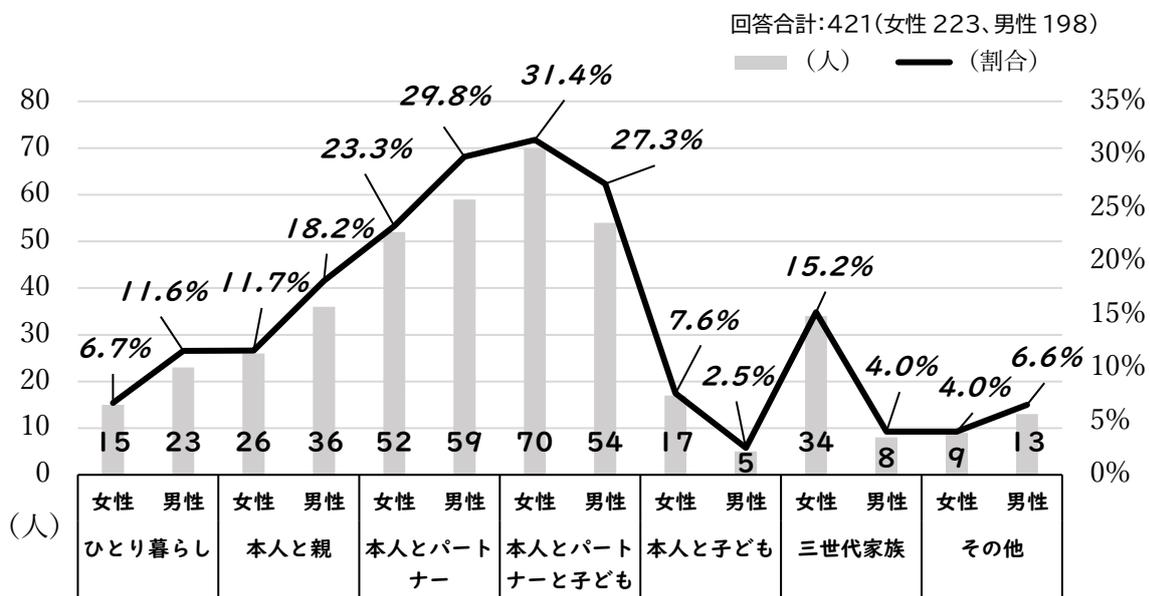
- ▶ 前回調査と同じく、男女ともに60歳代の回答が最も多くなりました。今回はWebでの調査も実施しましたが、若年層からの回答の割合はあまり変わりませんでした。

年齢	回答者数(A)	対象者数(B)	回答率(A)/(B)
18歳~19歳	17	32	53.1%
20歳代	36	160	22.5%
30歳代	51	160	31.9%
40歳代	57	162	35.2%
50歳代	71	162	43.8%
60歳代	105	162	64.8%
70歳以上	85	162	52.5%
合計	422	1000	42.2%



問3 家族構成

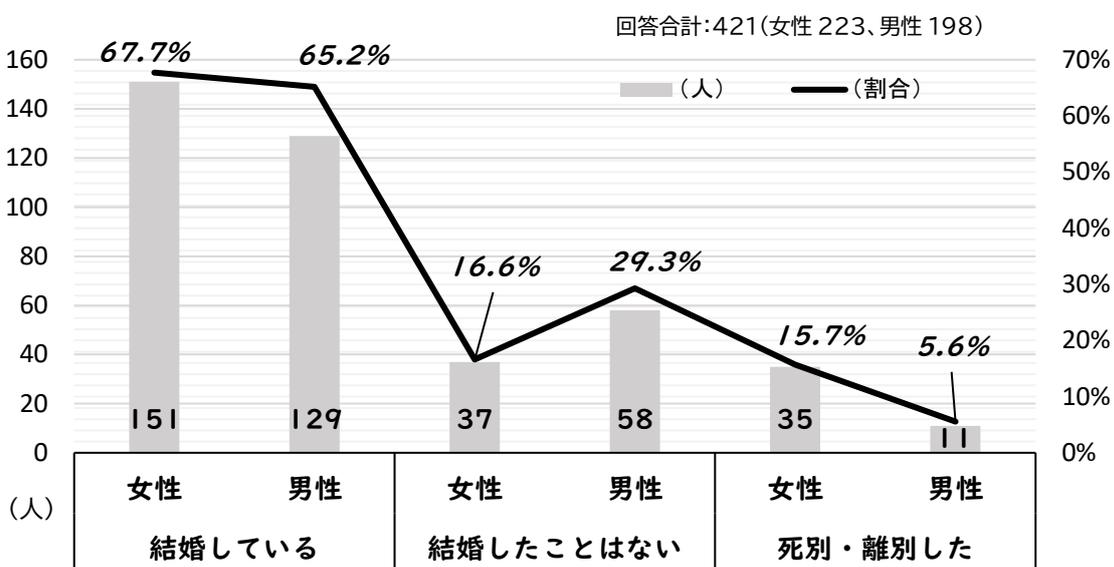
▶ 「本人とパートナーと子ども」の家族構成が最も高く、次いで「本人とパートナー」の割合が高くなりました。ひとり暮らしの割合は、前回調査に比べて低くなっています。



問4 結婚の経験

▶ 男女ともに「結婚している」と答えた割合が前回調査と比べて高くなった一方で、「結婚したことはない」と答えた割合も前回調査より高くなっています。結婚したことがない人は男性の方が多くなっています。

回答	回答者数	割合(%)
結婚している	280	66.4%
結婚したことはない	96	22.7%
死別・離別した	46	10.9%
合計	422	100.0%

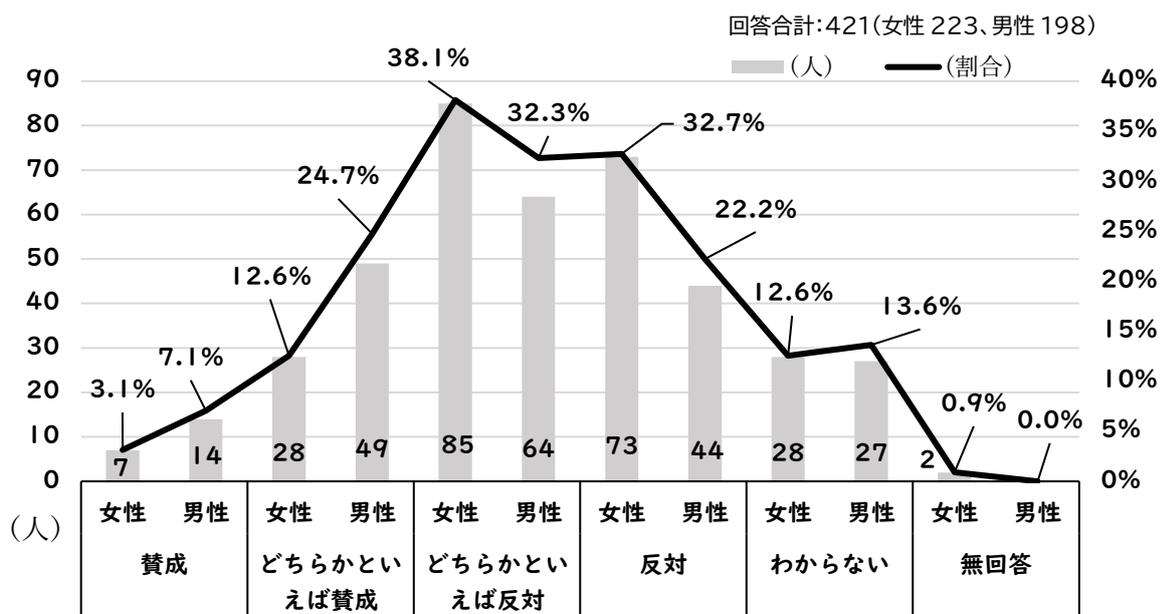
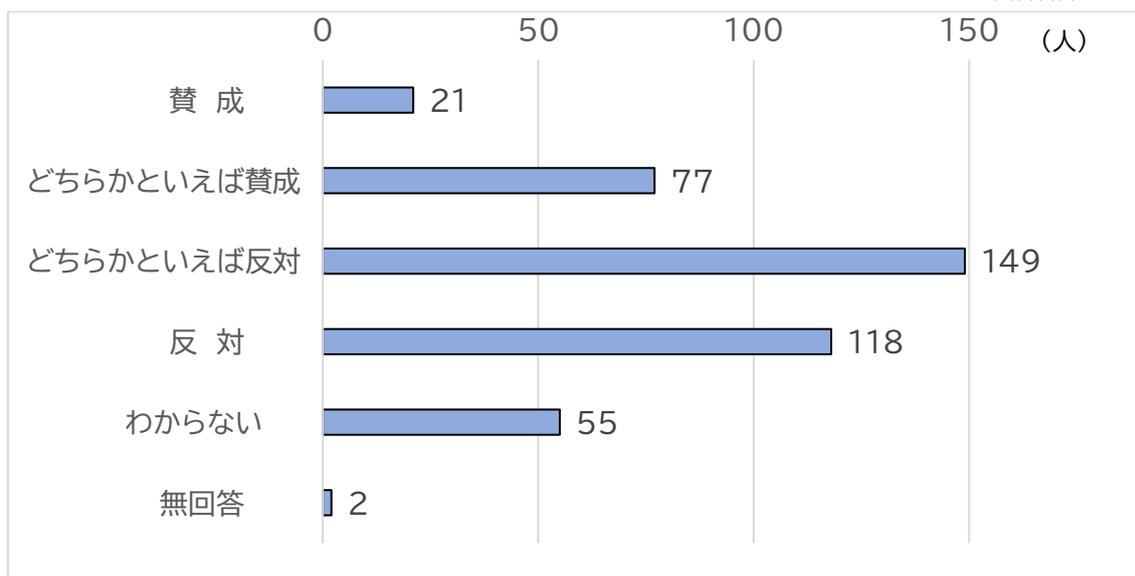


2 男女平等について

問5 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方

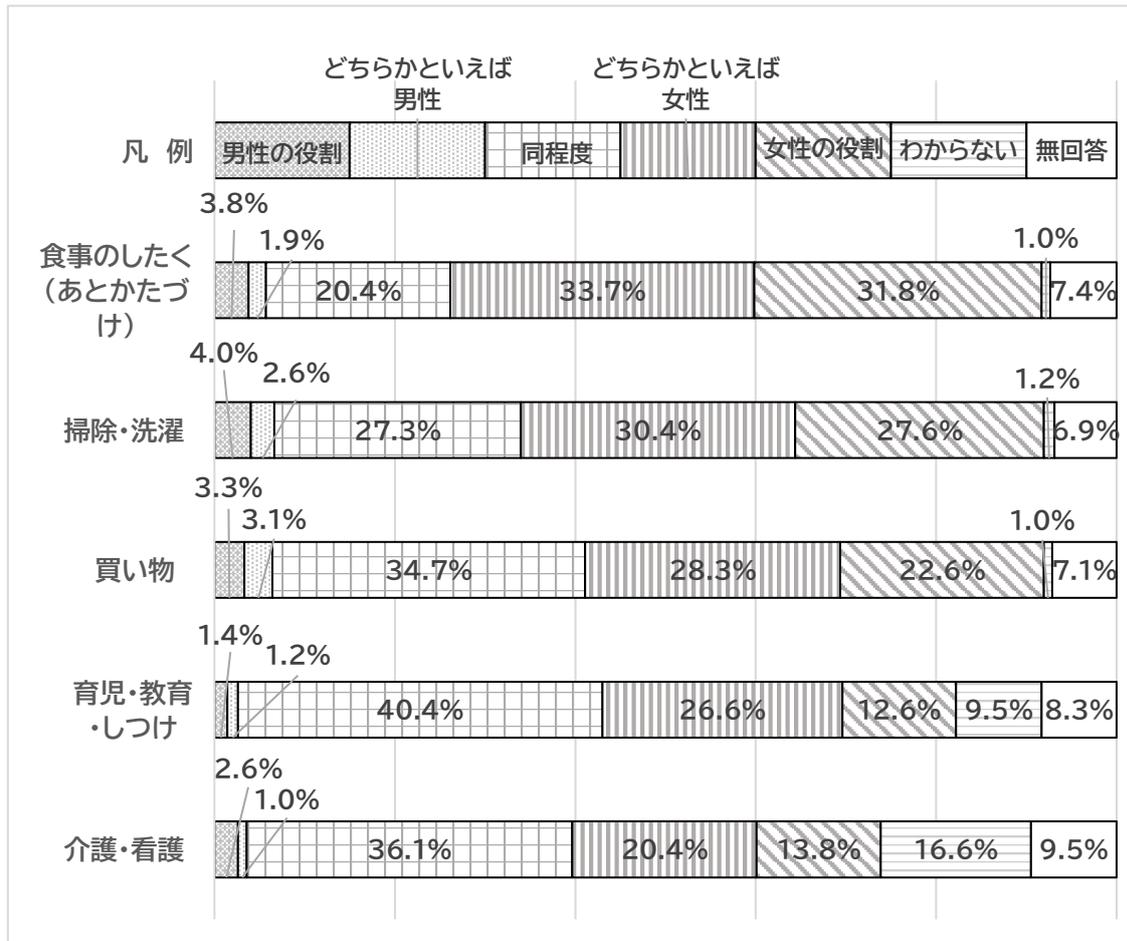
- ▶ 女性の方が否定的に捉え、男性の方が肯定的に捉える傾向はあるものの、男女の合計値では「どちらかといえば反対」が 35.3%、「反対」が 28.0%となり、前回の調査と比べて「反対」の割合が8%上昇して、賛成的な意見は減少しています。
- ▶ 性別による固定的な役割分担に対する意識について、改善傾向にはありますが、依然として根強く残っています。

回答合計:422



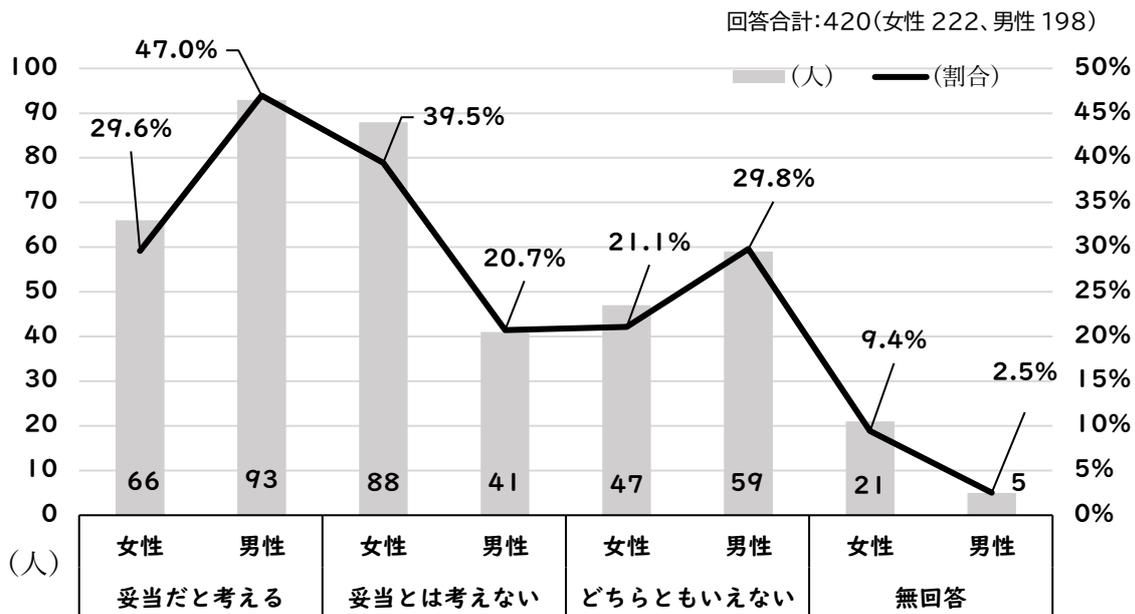
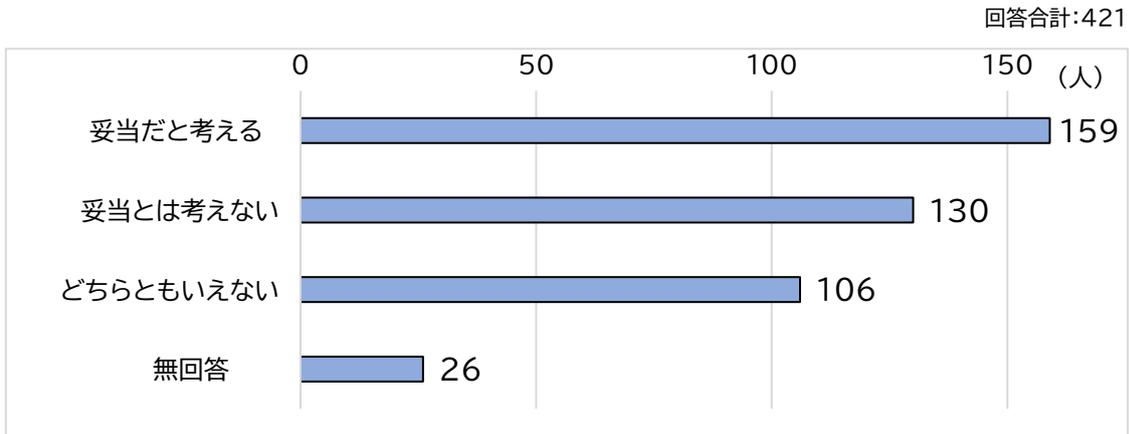
問6 家庭における男性との役割分担

- ▶ いずれの項目も、「男性の役割」「どちらかといえば男性の役割」「男性と女性と同程度」と答えた割合が前回調査に比べて増える傾向にあり、意識の改善がみられます。
- ▶ しかし、依然として「食事のしたく」、「掃除・洗濯」、「買い物」については、「女性の役割」又は「どちらかといえば女性」と答えた割合が、「男性と女性と同程度」との回答より高い傾向にあります。



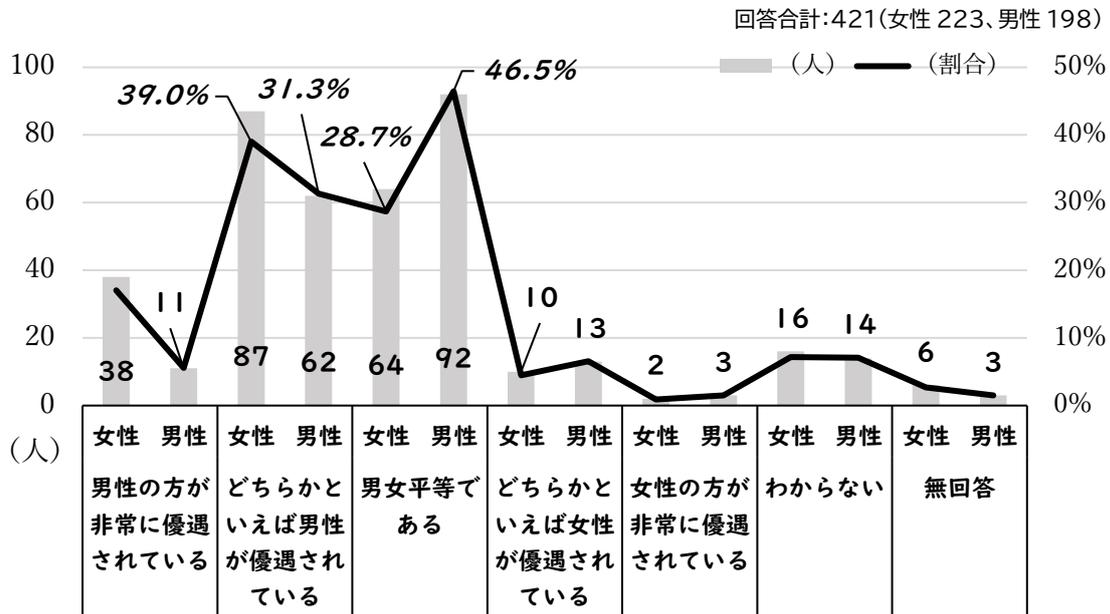
問7 現状の男性との役割分担についての考え

- ▶ 男女を合わせると、「妥当だと考える」と答えた人数が最も多くなりますが、男女別にみると、男性の方が「妥当だと考える」とする割合が高く、女性の方が「妥当とは考えない」とする割合が高くなっています。
- ▶ 男性と女性の間で認識に開きがあることがわかります。



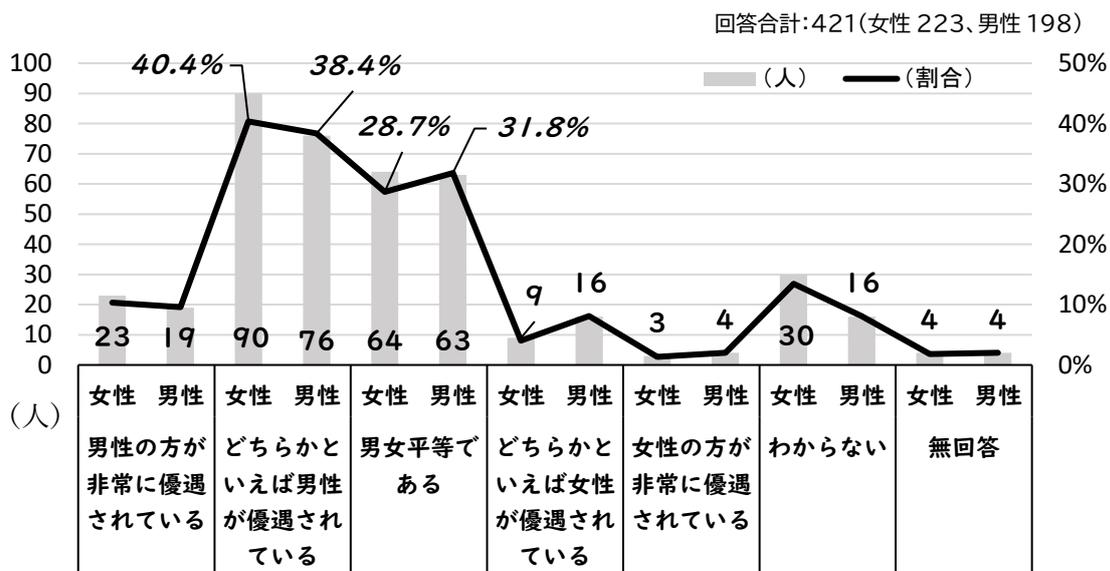
問8-1 家庭生活での男女平等

▶ 男女別にみると、男女間で認識の差が大きく開いていることがわかります。家庭生活における男女平等を実現するためには、男性の意識改革が必要であるといえます。



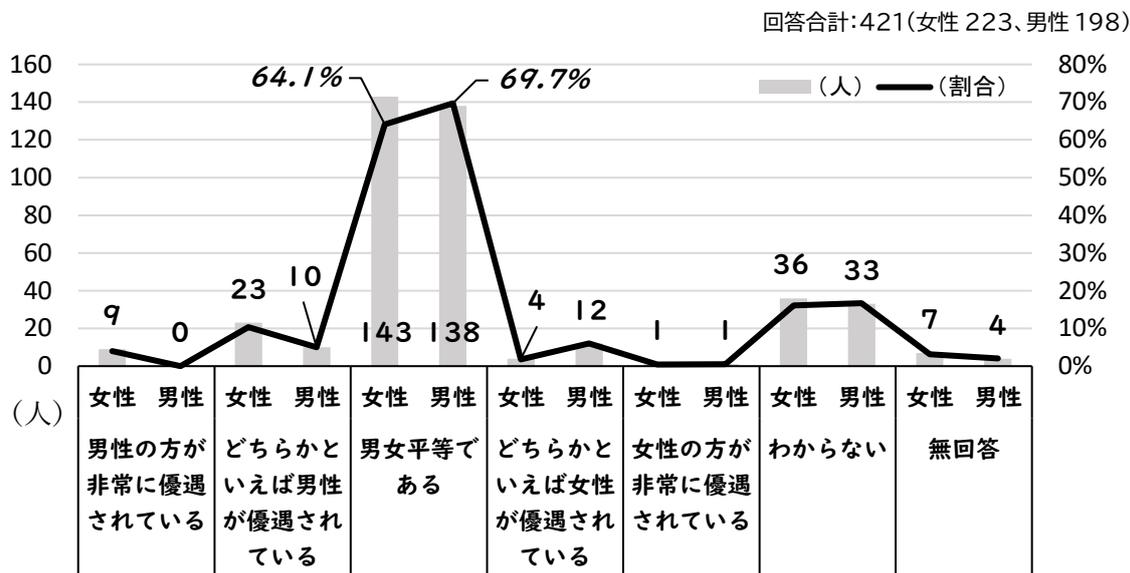
問8-2 職場や職業での男女平等

▶ 男性が優遇されていると感じる女性が、男性よりも多いものの、割合に大きな差はなく、男女とも同様の現状認識ができていることがわかります。



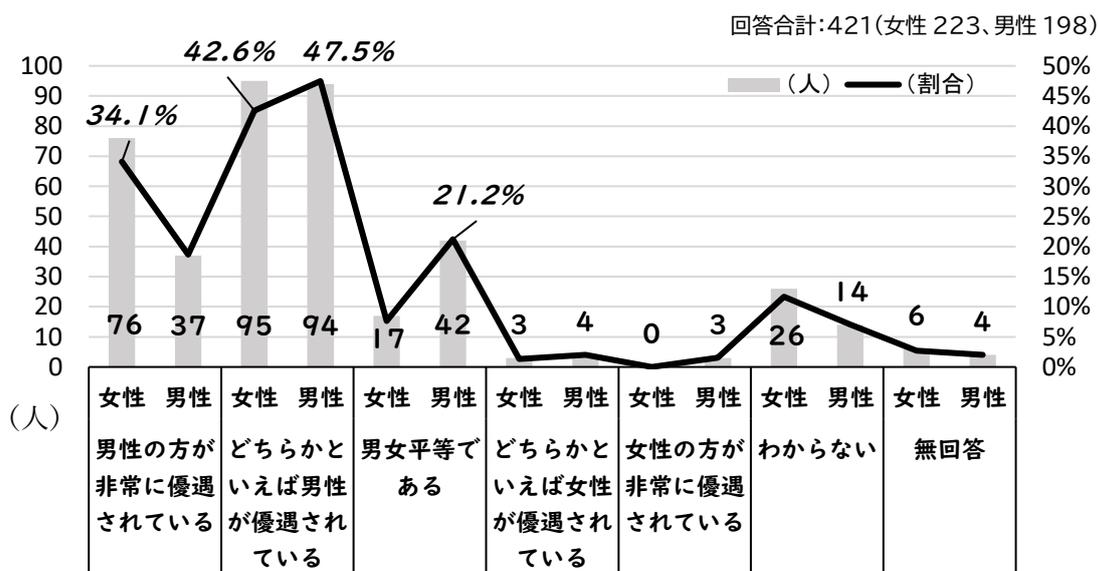
問8-3 学校教育における男女平等

▶ 学校教育においては、「男女平等である」と答えた割合が男女ともに高く、男女平等であるとの認識で広く捉えられているといえます。



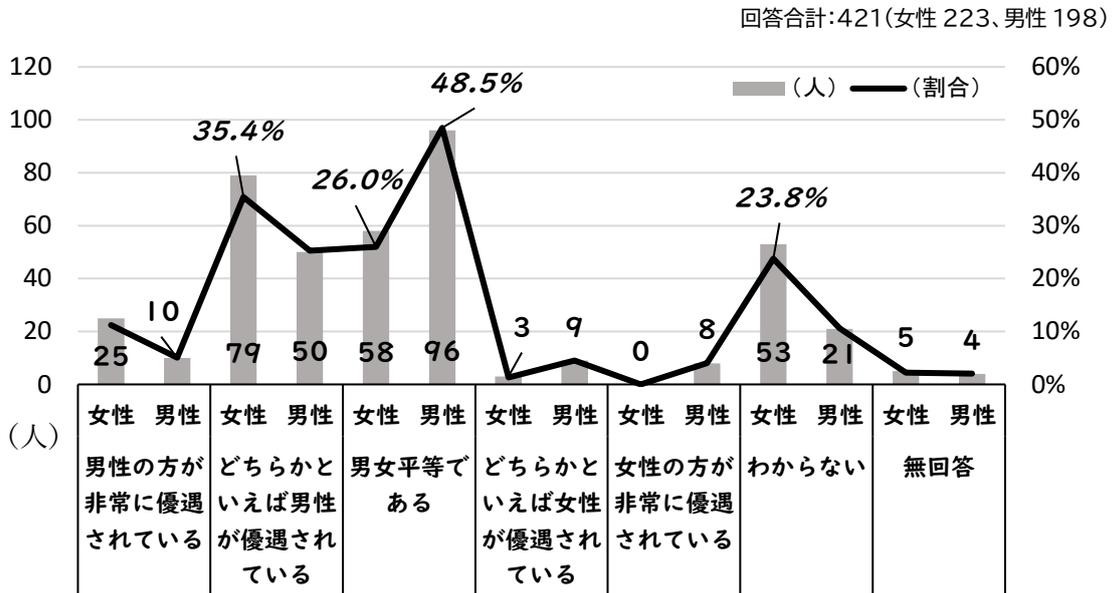
問8-4 政治の場における男女平等

▶ 「男性の方が非常に優遇されている」と「男女平等である」の選択肢をみると、男女間で認識に開きがあるといえます。政治の場における男女平等については、改めて課題を見つめ直す必要があるといえます。



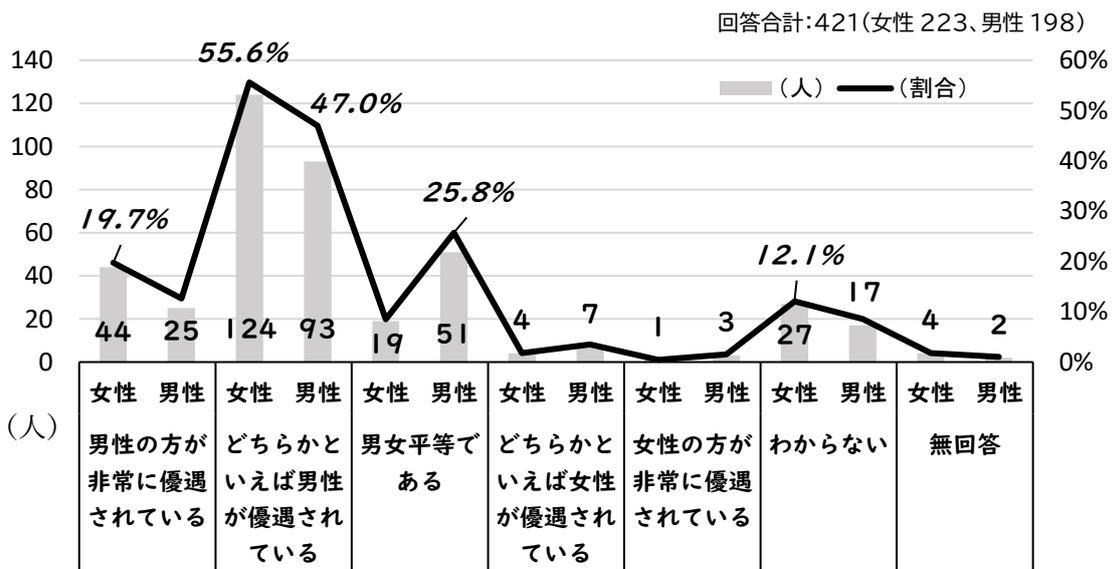
問8-5 法律や制度における男女平等

▶ 「男女平等である」と答えた男性と女性の割合をみると、男女間で認識の差が大きく開いており、女性は男性が優遇されていると捉えているといえます。



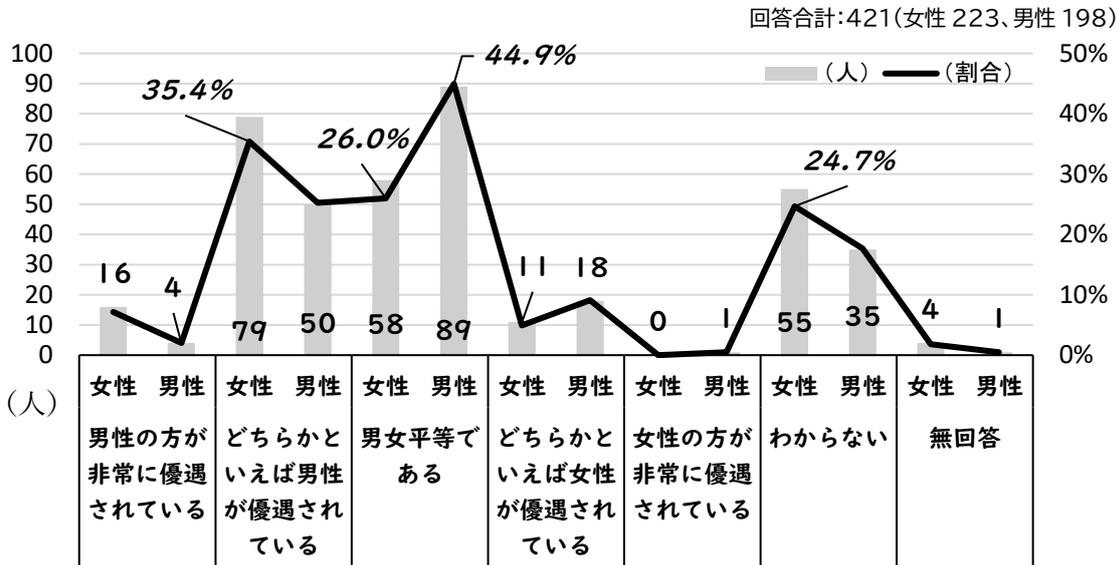
問8-6 社会通念・慣習しきたりなどにおける男女平等

▶ 社会通念・慣習しきたりにおいては、男性は「男女平等である」と感じる割合が多いものの、女性は男性が優遇されているという捉え方をしている傾向にあります。



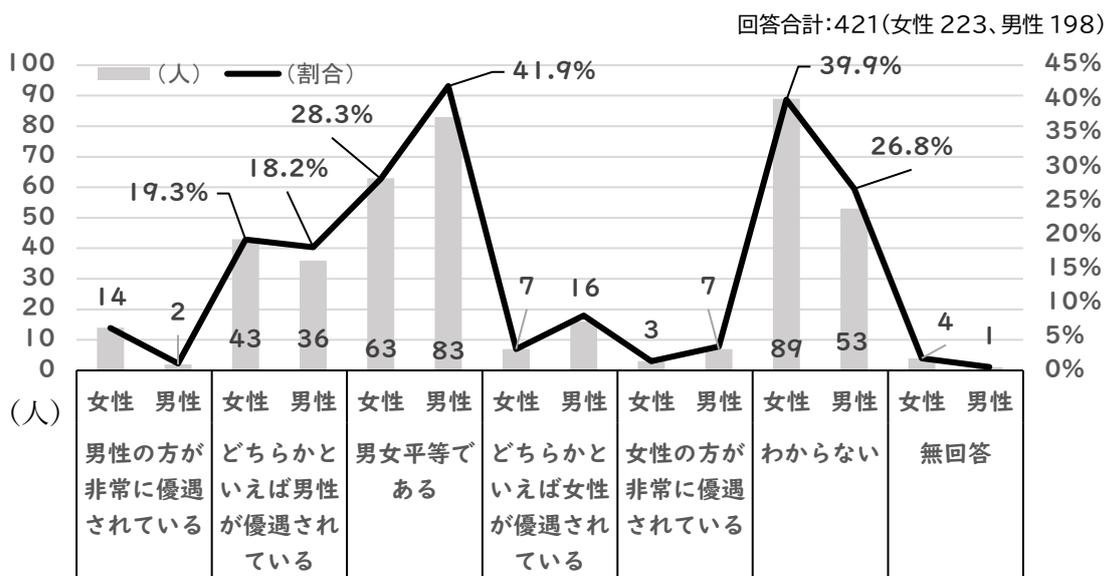
問8-7 自治会・PTA等地域活動の場における男女平等

▶ 「男女平等である」と考える女性も多いものの、男性が優遇されていると感じる女性の割合が男性よりも高く、認識に開きがあることが分かります。



問8-8 災害時の避難所・避難場所等における男女平等

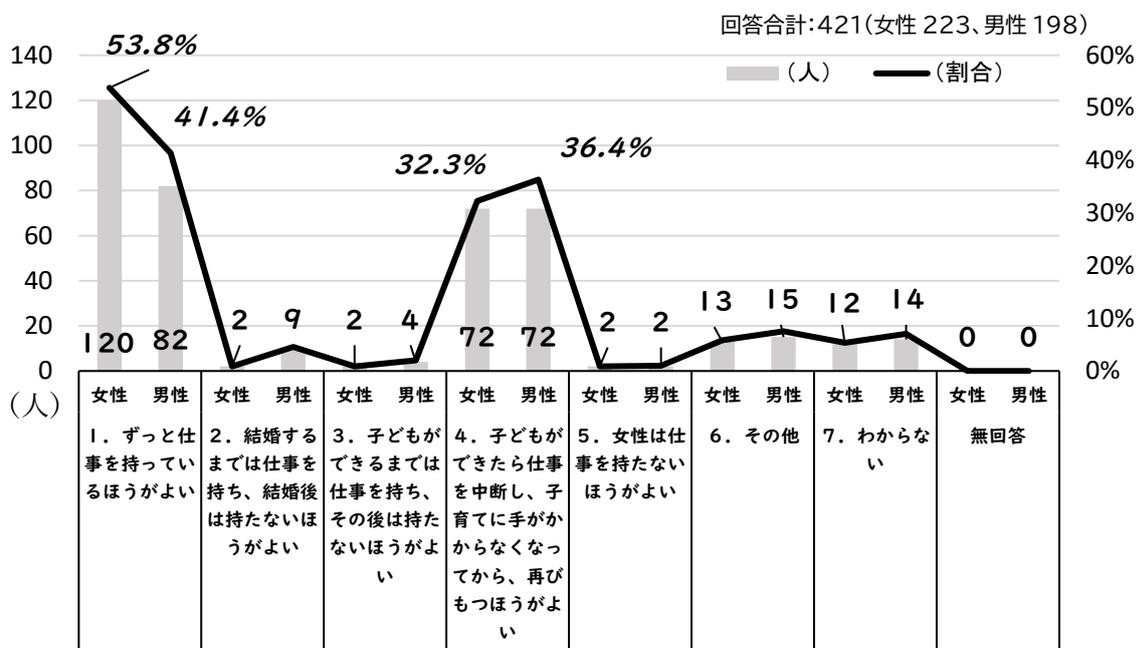
▶ 女性の回答で最も多かったのが「わからない」で、男性も「わからない」が2番目に多くなっています。避難所等における男女平等がどのように図られているか、周知が不足しているといえます。取組状況を周知した上で、改めて認識を確認する必要があります。



3 ワーク・ライフ・バランスについて

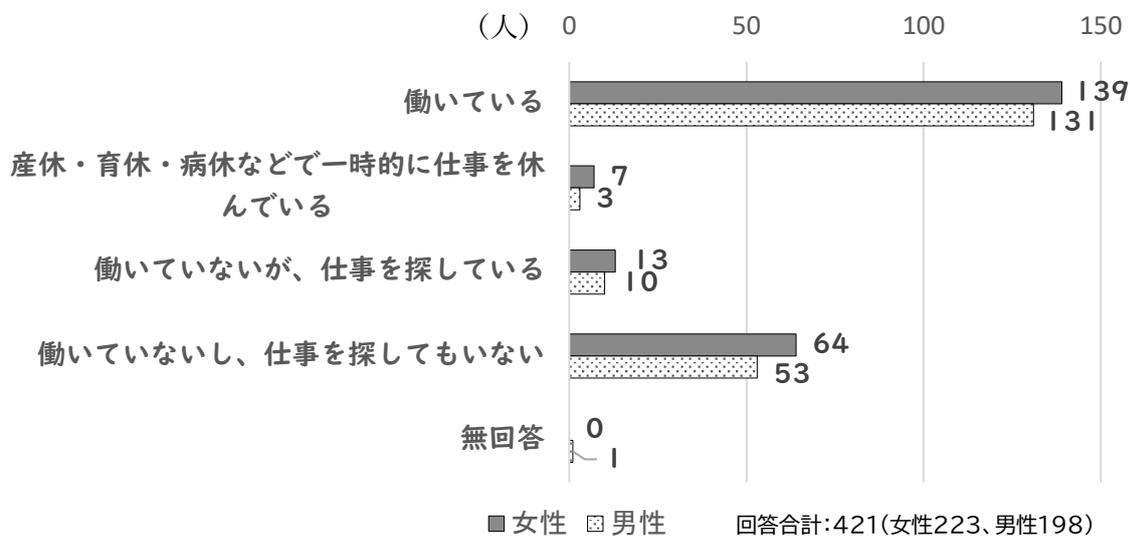
問9 女性が仕事を持つことについての考え方

▶ 「ずっと仕事を持っているほうが良い」が全体の47.9%を占めていますが、男女別にみると、女性は53.8%、男性は41.4%と、割合の差が開いています。



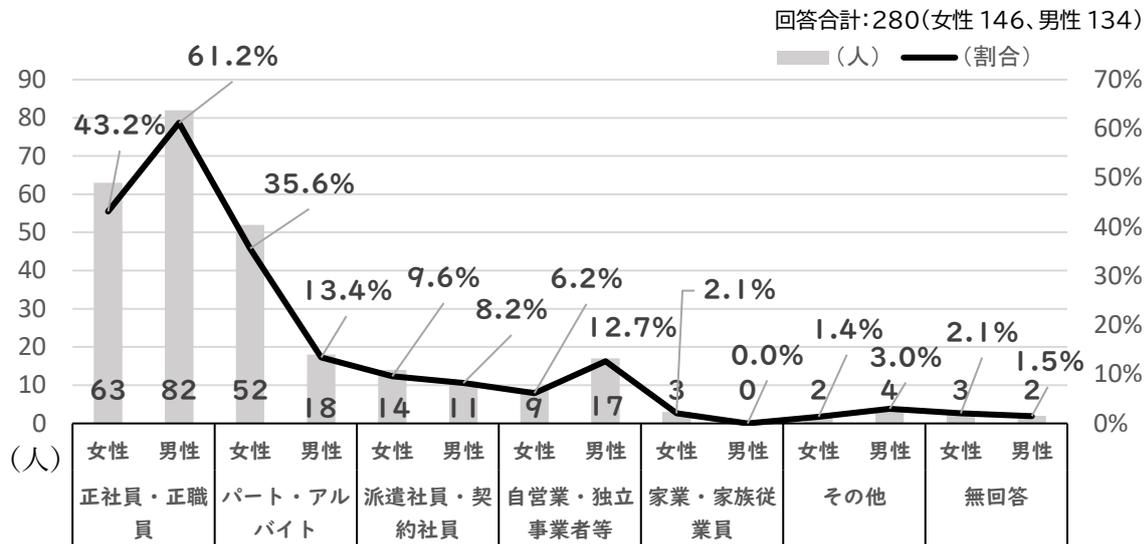
問10 現在、働いているか

▶ 回答者は、「働いている」が最も多く、次いで「働いていないし、仕事を探してもいない」が多くなっています。問2の年齢層を踏まえると、妥当とみられます。



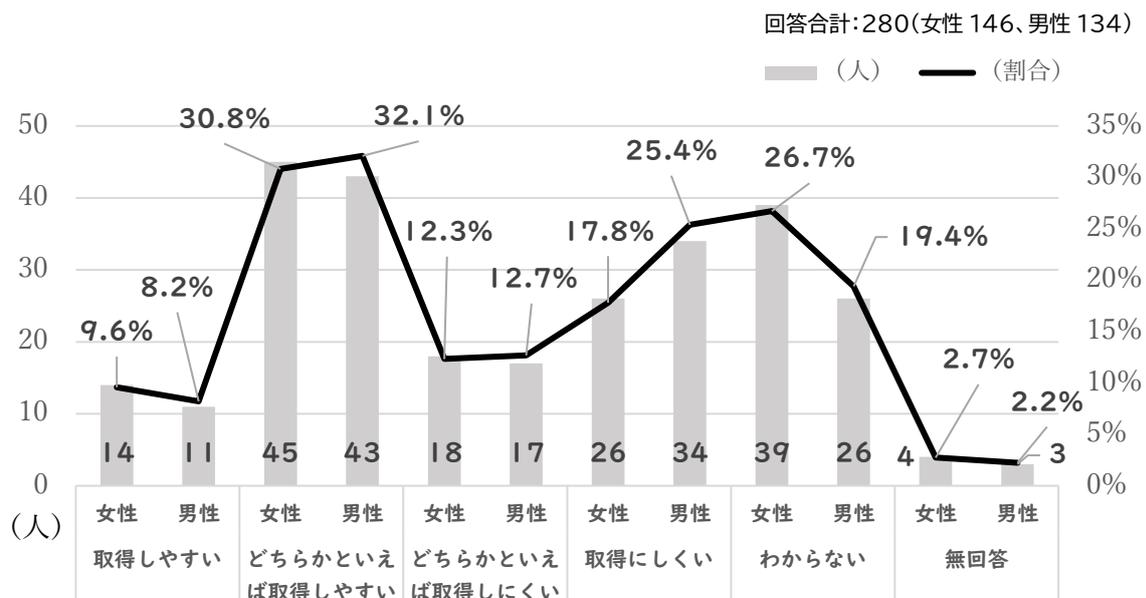
問10-1 働き方

▶ 「正社員・正職員」と「パート・アルバイト」については、男女間の比率に大きな差があり、性別による働き方の違いがあらわれています。



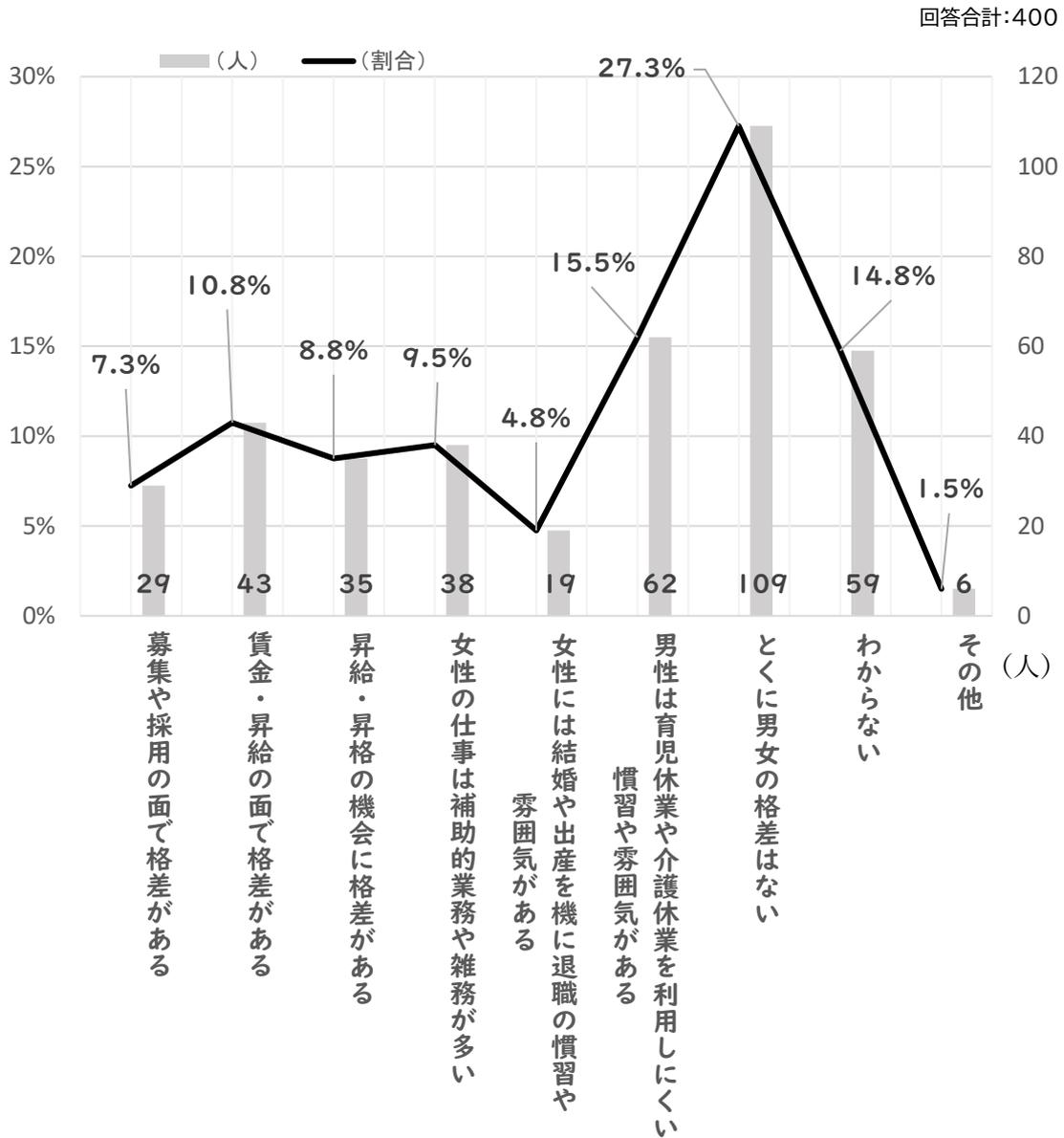
問10-2 男女別でみた育児休業・介護休業の取得しやすさ

▶ 男女ともに、育児・介護休業は取得しやすい傾向にあります。男性の方がやや取得しにくさを感じていることがわかります。



問10-3 職場における男女間の格差

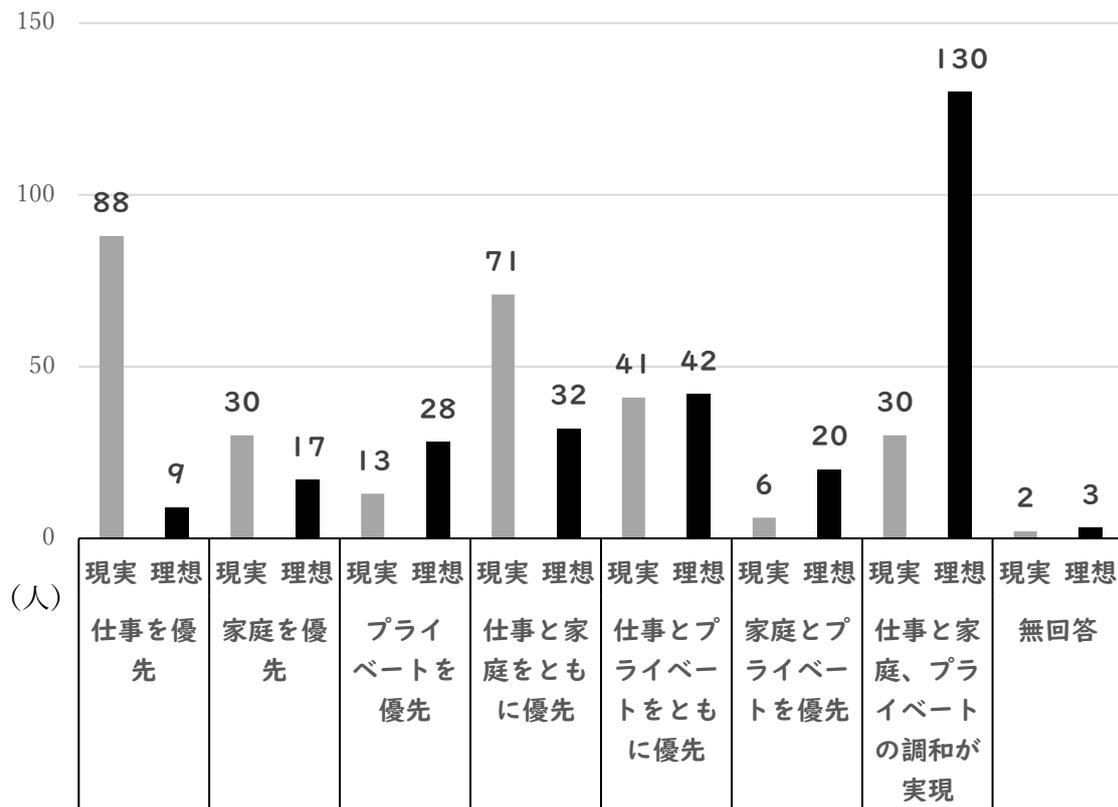
▶ 回答を統合すると、職場において男女間で何らかの格差があると感じている割合は全体の56.4%となり、男女格差があると感じる割合が過半数を超えています。



問11 「仕事」「家庭」「プライベート」の優先度(理想と現実)

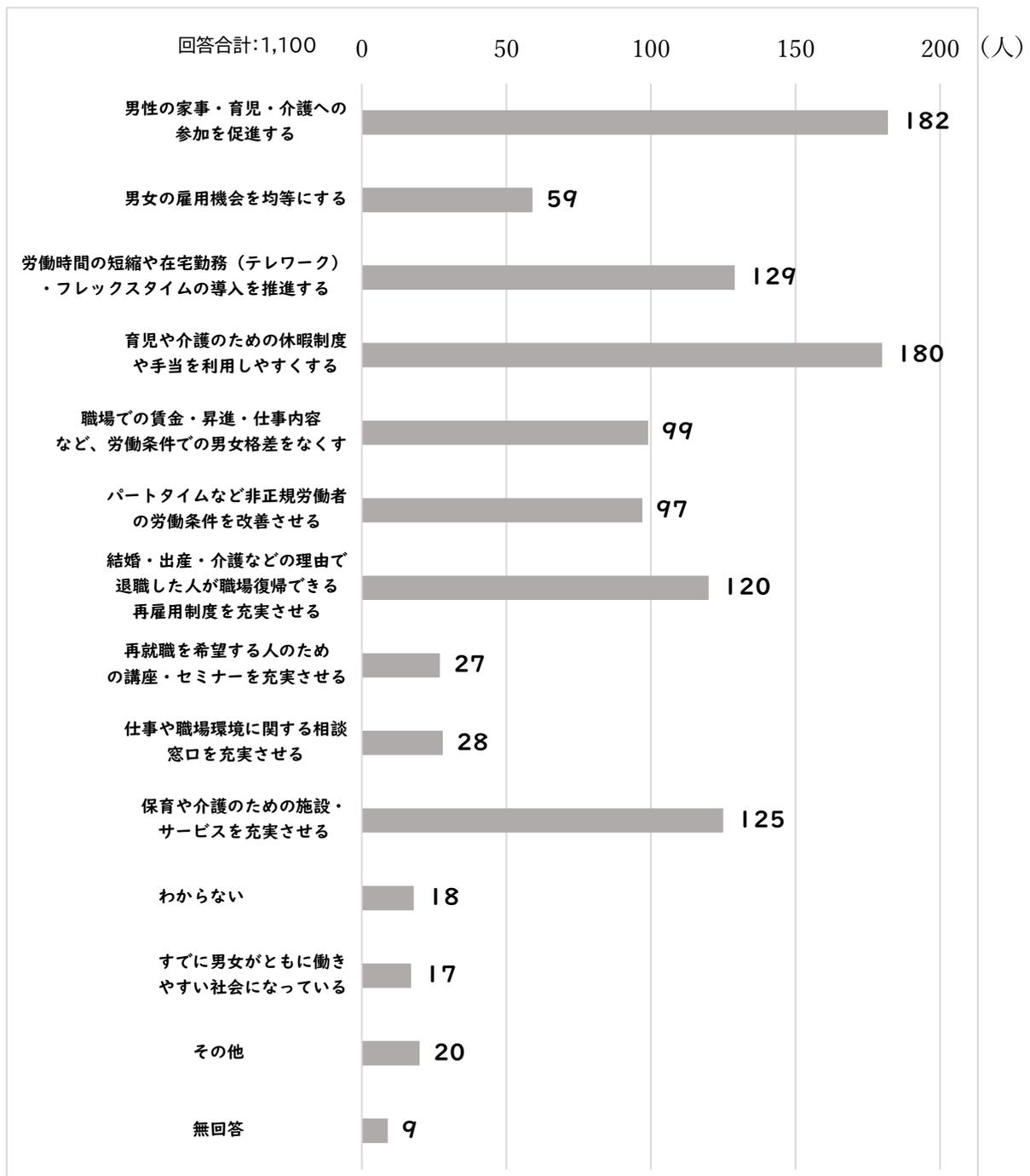
▶ 理想としては、仕事、家庭、プライベートの調和を実現させたいとの思いがある一方で、現実としては仕事を優先せざるを得ない状況にあることがわかります。

回答合計:各 281



問12 女性が長く働き続ける上での困難や障壁

- ▶ 全体として、子どもに関すること、家庭や家族に関することが、働き続ける上での困難や障壁となっていることがわかります。
- ▶ 職場での制度や慣習に関しても改善が求められています。

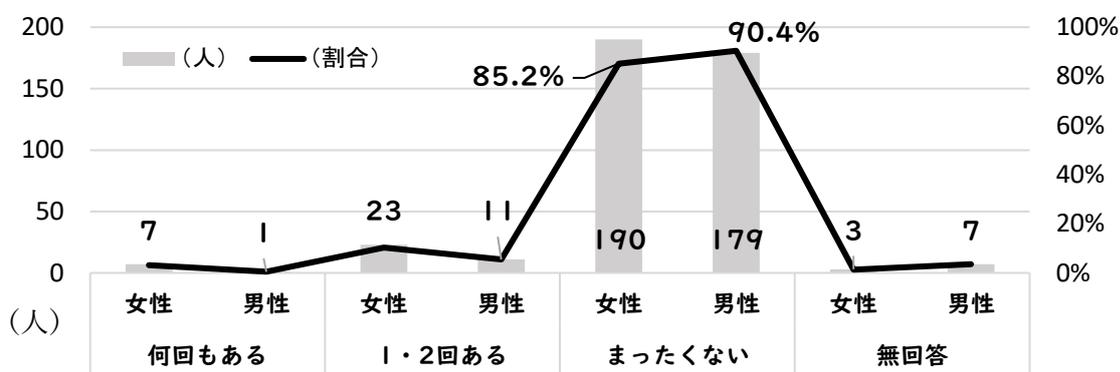


4 あらゆる暴力の根絶について

問13 ドメスティック・バイオレンスの被害経験

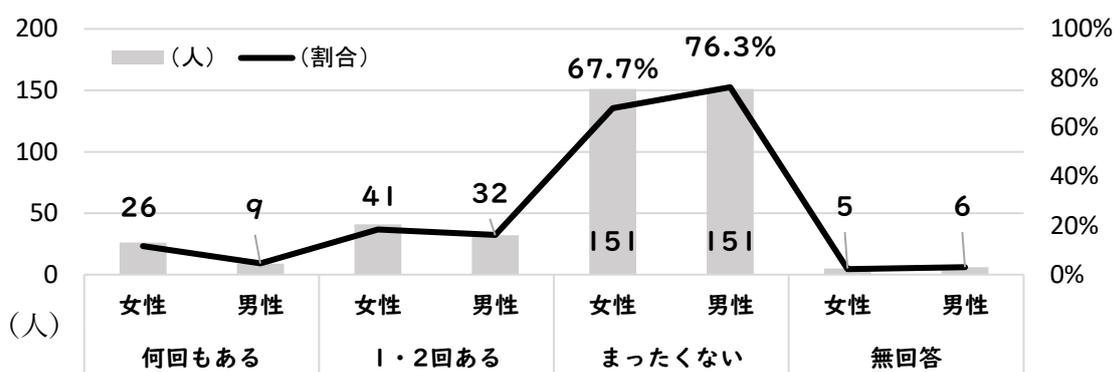
- ▶ DV 被害の中では、(2)人格を否定するような暴言を経験したことがある人数が多くなっています。
- ▶ 全体をみれば、男性より女性の方が、DV 被害経験が多い傾向がありますが、暴言や無視といった行為については、男性も DV 被害を受けていることがわかります。

(1) ながる、ける、突き飛ばされるなどの身体的暴力



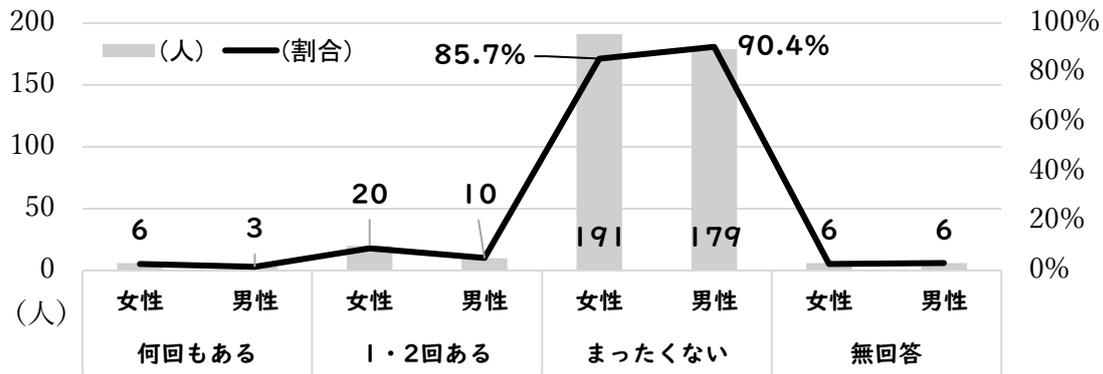
回答合計:421(女性 223、男性 198)

(2) 人格を否定するような暴言



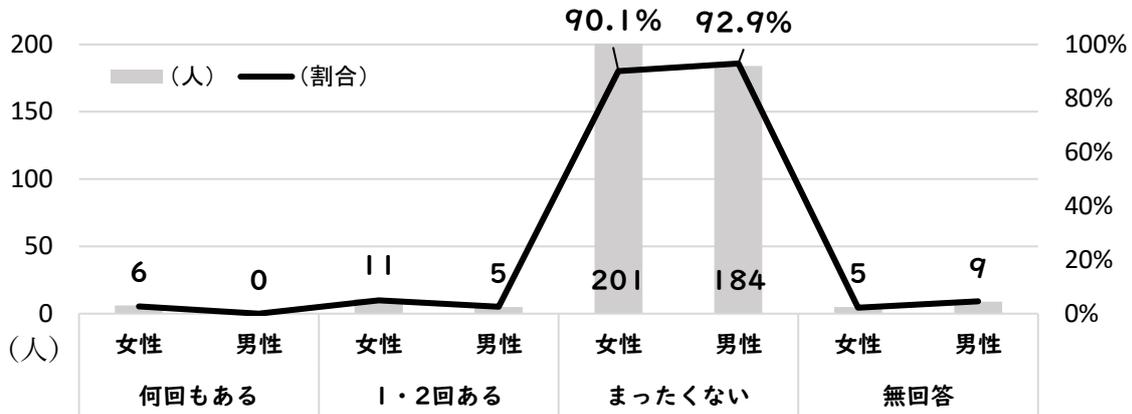
回答合計:421(女性 223、男性 198)

(3) 交友関係を監視したり、メール等にすぐに返事をしないと怒る



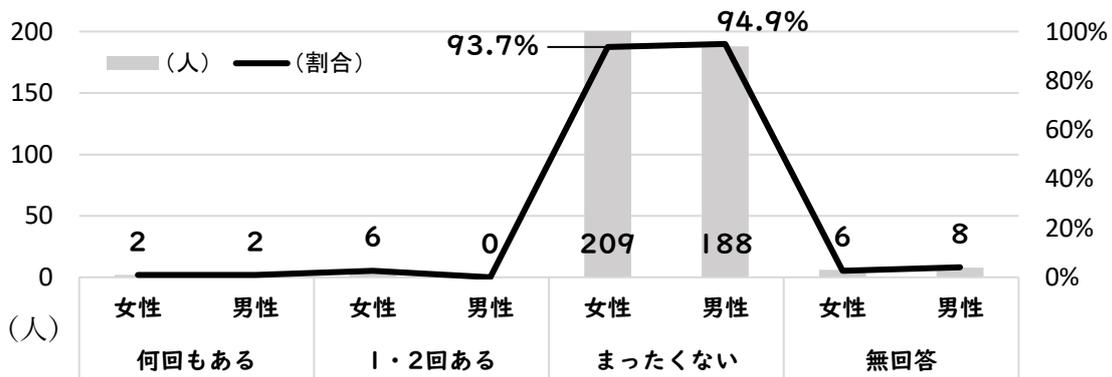
回答合計:421(女性 223、男性 198)

(4) 嫌がっているのに性的な行為を強要



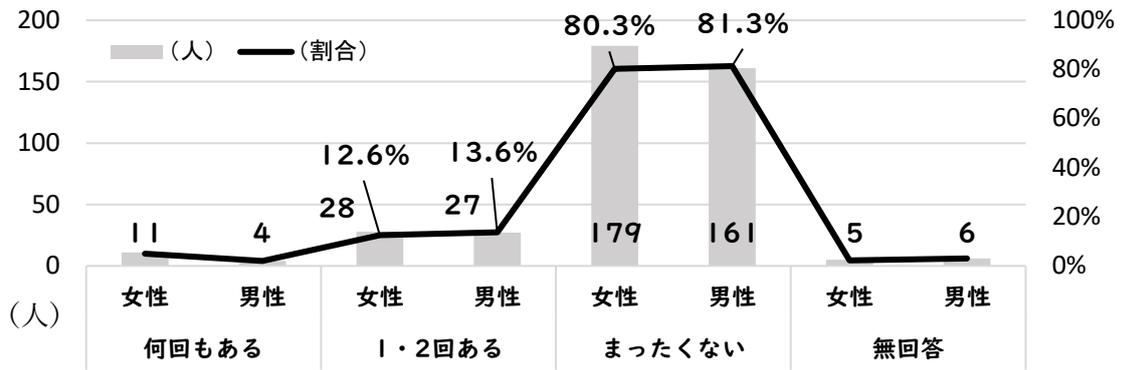
回答合計:421(女性 223、男性 198)

(5) 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要



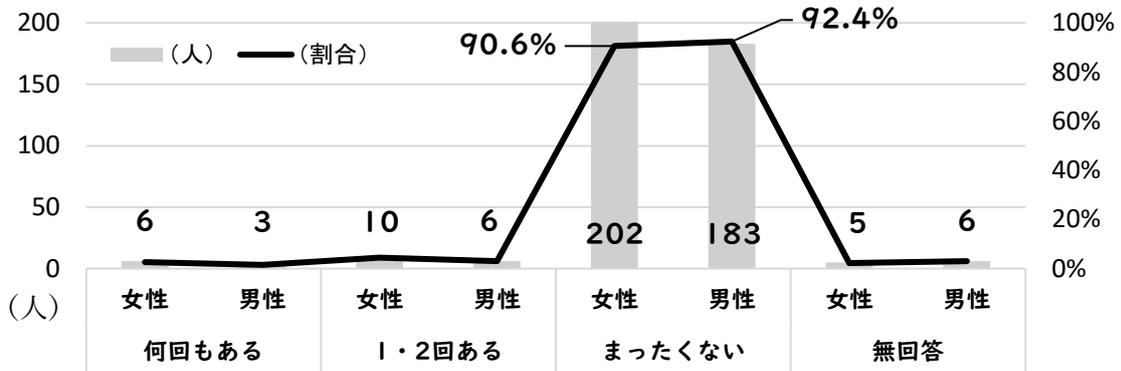
回答合計:421(女性 223、男性 198)

(6) 何を言っても無視され続けた



回答合計:421(女性 223、男性 198)

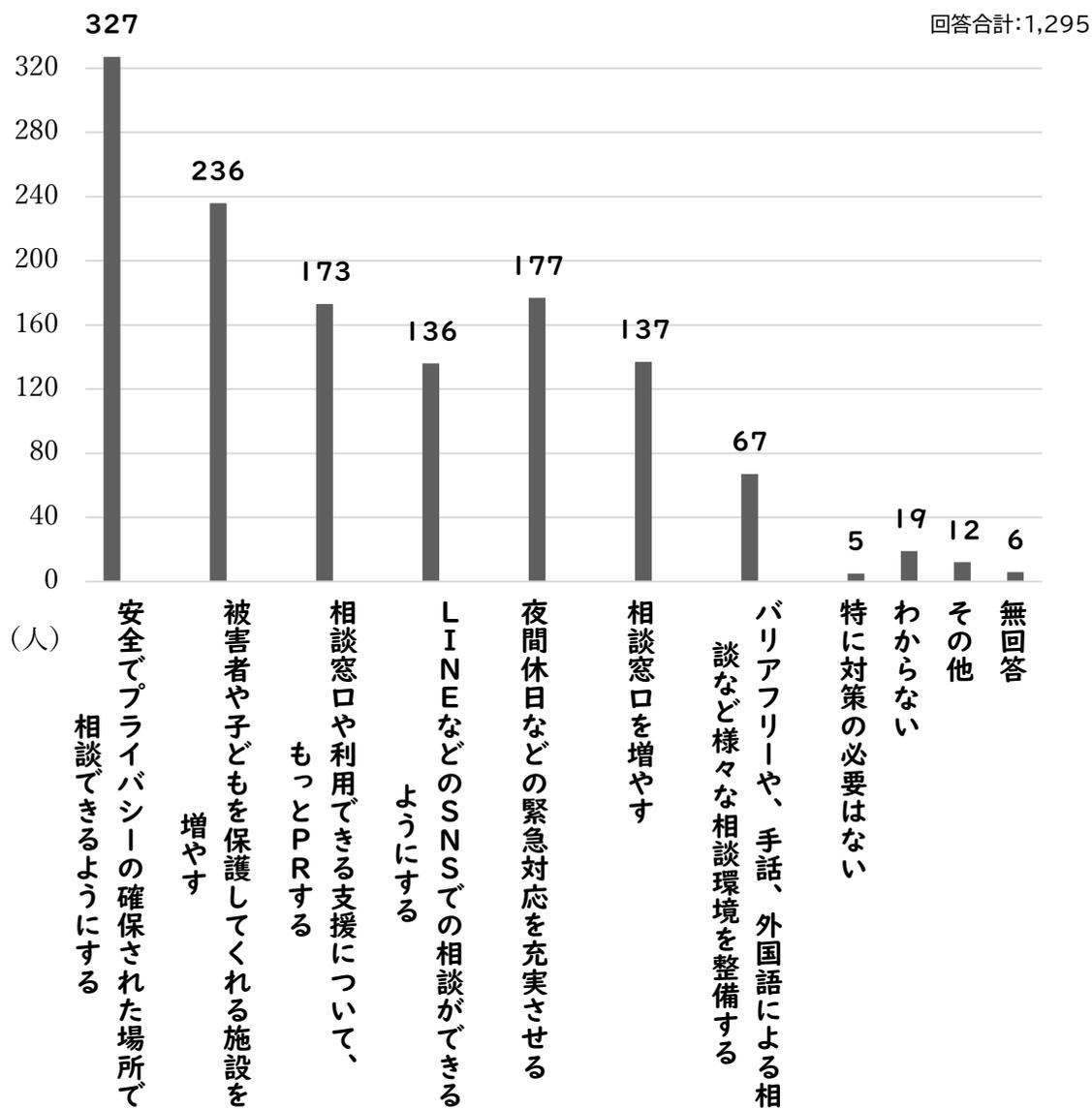
(7) 生活費を渡さなかったり、経済的に押さえつける



回答合計:421(女性 223、男性 198)

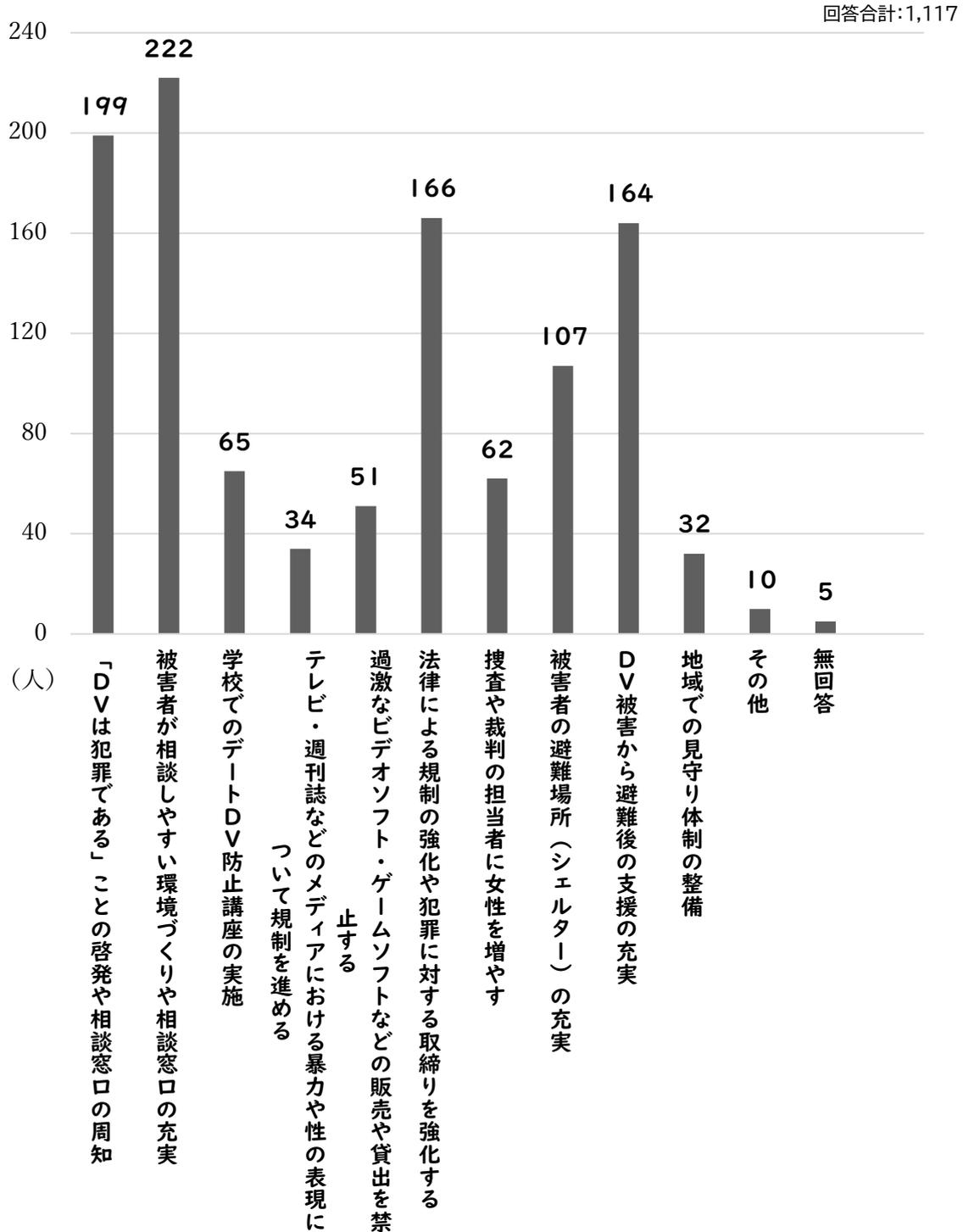
問14 被害者が相談しやすくするために何が必要か

- ▶ 最も多い回答は「安全でプライバシーの確保された場所で相談できるようにする」となっており、他の回答を総合すると、安全でプライバシーが守られる相談窓口の設置が求められているといえます。



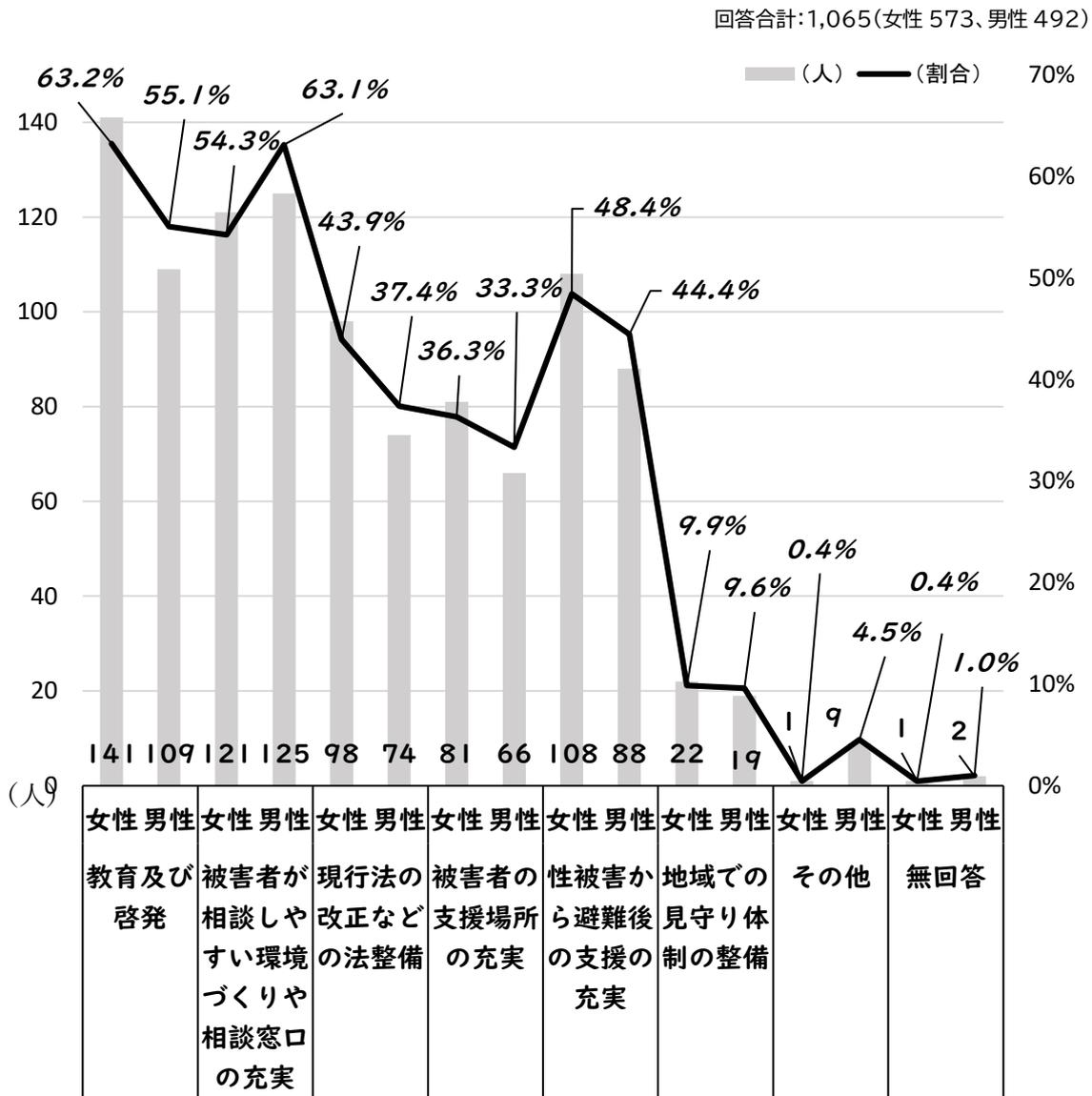
問15 ドメスティック・バイオレンス被害をなくすための対策

▶ 問14と同じく、「被害者が相談しやすい環境づくりや相談窓口の充実」「(略)相談窓口の周知」と答えた数が多く、相談窓口の設置と充実が強く求められているといえます。



問16 性被害・性暴力をなくすための対策

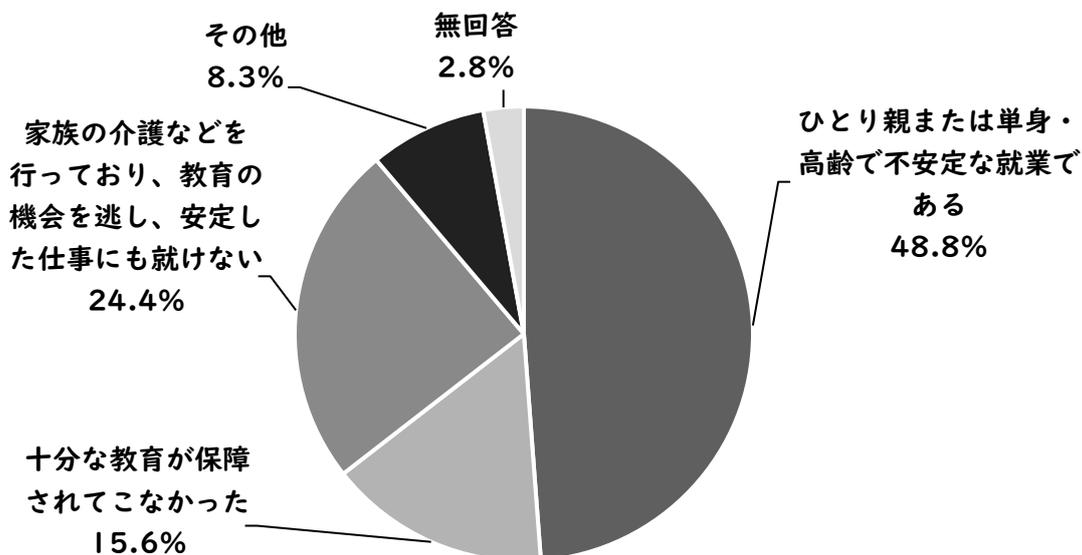
- ▶ 女性で最も多い回答は「教育及び啓発」で、性被害・性暴力の防止に係る施策に反映していく必要性が感じられます。
- ▶ 問14・問15と同じく、男女ともに相談窓口の設置、充実が求められています。



5 貧困等生活上の困難に対する支援について

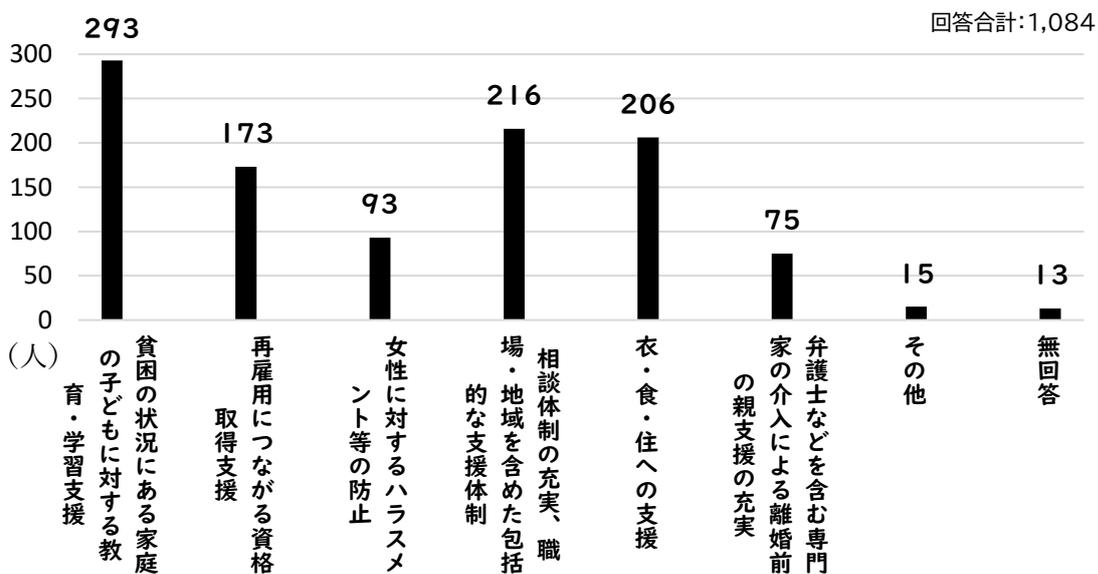
問17 貧困の原因について

- ▶ 就業が不安定であること、また、様々な理由により教育の機会を逸したことが、貧困の原因であると感じる割合が高くなっています。



問18 困難な問題を抱える世帯等に対する支援

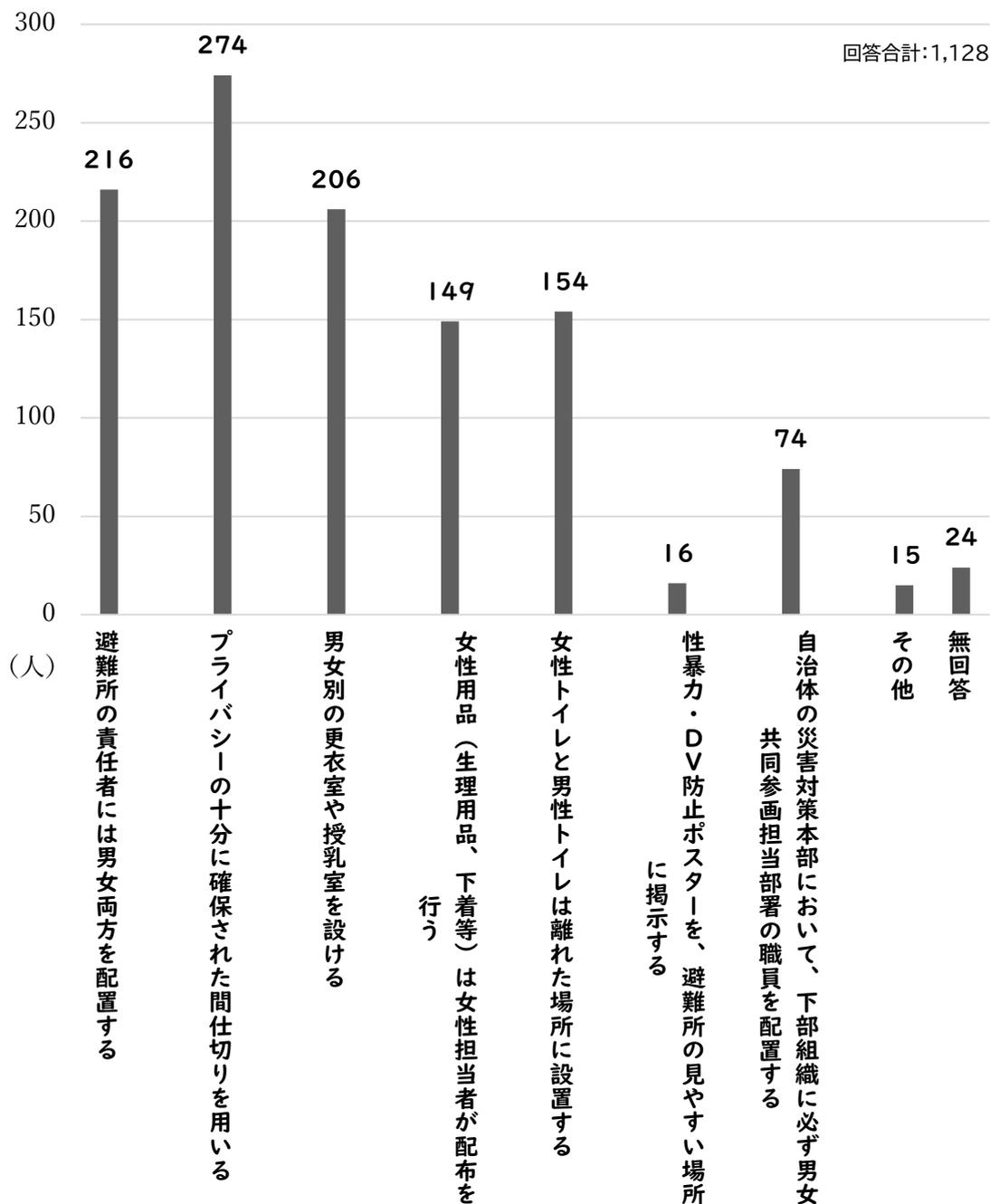
- ▶ 最も回答件数が多かったのは教育・学習支援で、次いで相談体制・支援体制の充実、衣食住の支援となっています。教育・子育て支援施策・取組への反映が求められます。



6 女性の視点からの防災の取組について

問19 男女共同参画の視点から必要だと考える防災の取組

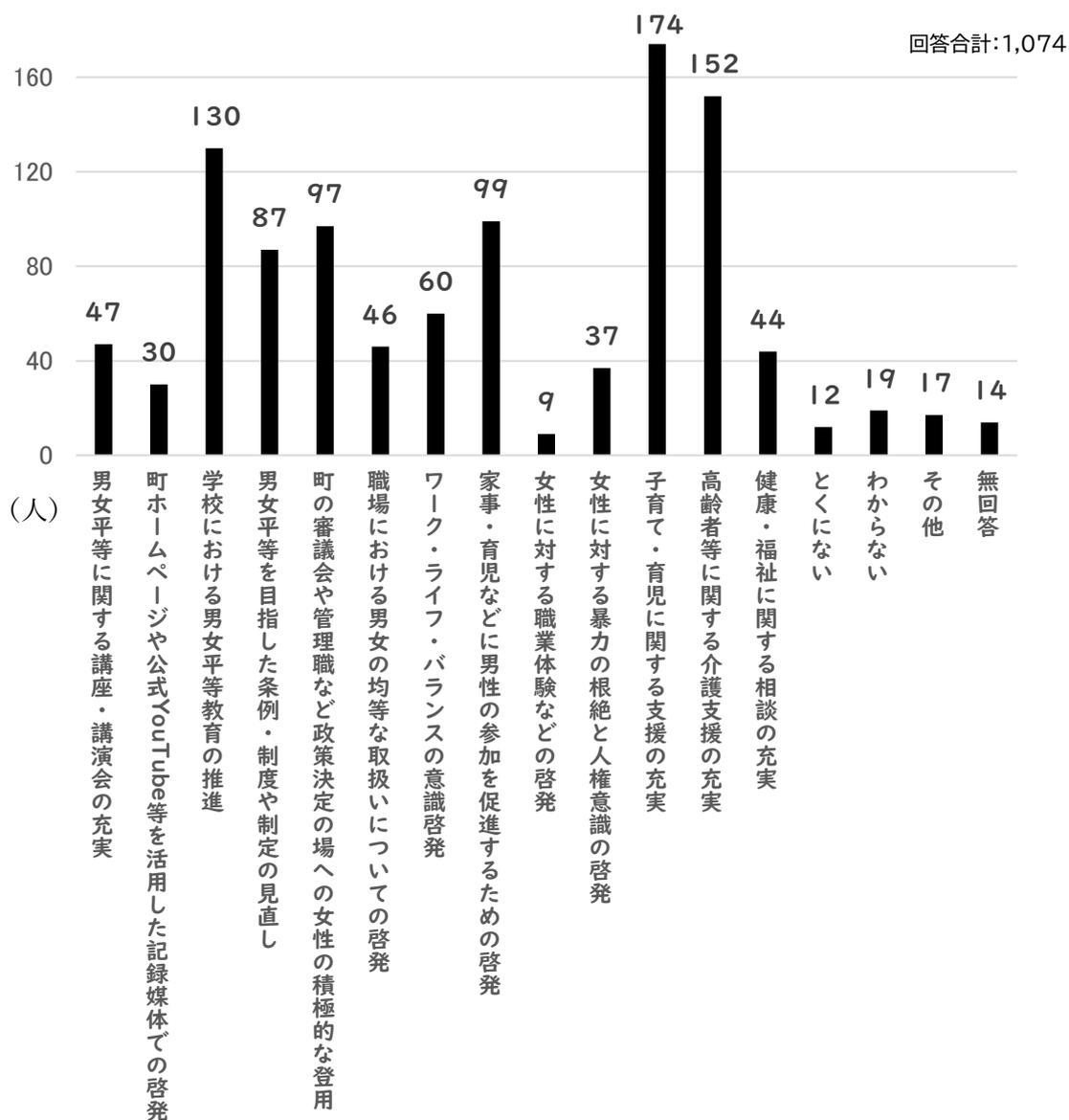
- ▶ 間仕切り、更衣室・授乳室、トイレなどハード面での対応を求める声だけでなく、避難所の運営体制(ソフト面)での対応を求める声も多くなっています。
- ▶ 町は、避難所設置者として、さまざまな立場からの意見を聴取する必要があります。



7 男女共同参画社会の実現にむけて

問20 男女共同参画社会に向けた取組について

▶ 前回調査では「子育て・育児に関する支援の充実」がトップで、それは今回調査でも同じでした。次いで多かったのは、「高齢者等に関する介護支援の充実」と「学校における男女平等教育の推進」でした。



8 キャッチフレーズの募集結果

▶ たくさんのキャッチフレーズをいただきました。誠にありがとうございました。
今後の男女共同参画推進にあたってのキャッチフレーズの参考とさせていただきます。

一人一人がたどつ子	男・女 皆同じー人間
共に助け合う町づくり	男女の意識なく会をする
違いを力に、共に作る未来	寄り添って聞こう
夢 愛を追うのは男女共同	みんなで作る共生社会
男女同権人々に最善を尽くそう	つなごう 愛と調和を次世代へ
みんなの力で一人ひとりの幸せを！	一人ひとりが協力し合える町づくり
この世は男と女 助け合いましょう	君も私も共々に
男性も女性も皆平等な社会にしよう！	幸せは男女(ふたり)で造る社会から
人権尊重分かち合う豊かな社会	お家で男女ともにエプロンつけてね
多様性 新たな尺度が 津々浦々	老若男女 手を取り合って明るい未来
笑顔のサク町、多度津町	女性？男性？人として考えよう！
男女平等で明るい社会！	あなたもわたしも楽しく共同参画
平等から共同へおぎない愛	夢は叶うと信じられる世の中に
多様性を認め合い、共に輝く社会へ	本当に平等ですか？
考えよう昔の当たり前は今の非常識	充実させよう子育て支援！
みんな我が事社会	あなたの人生 主人公はあなた自身
男女に違いはあっても、壁はない	考え方を柔軟にしよう
個々の役割分担	男も女も人である
あなたらしさが繋ぐ社会	男女「わたし」達がやります。
男尊女尊	男女共同参画は日本の発展のカギ
誰もが自分らしく、いきいきと	性別にとらわれず、夢を叶える
共に創る、共により良い未来へ	個性と能力を活かし、共に成長
仕事も家庭も、自分らしく	誰もが活躍できる、チャンスの場を
性別役割分担からの卒業	多様な価値観を尊重し、共に生きる
#ジェンダー平等	自分らしく、自由に、未来へ
多様性こそが、私たちの力	常識を疑う、新しい時代へ
男女参画(助け合い、認め合い、和気あいあい、愛の心で)	
男女ともに平等で差別のない社会を送ろう	
優しい心で受け入れよう今の時代の多様性	
ジェンダーギャップをなくし、平等な社会へ	
性別なんて関係ない、やりたいことをやろう	
多様な性の尊重と包容性のある社会へ	

ジェンダー平等の実現に向けて、共に歩む
ワークライフバランスの実現と両立支援の強化
男女共同参画社会の実現は、持続可能な社会の実現
平等から生まれる新しい可能性・性別を超えて共に未来を創る・「性別の枠を超えてみんなで前へ」
みんないきいき桜咲く多度津・住んでみまい、学んでみまい、桜ひらく多度津・今からもこれからも好きな町多度津
男性の、女性の、という言葉がない社会へ 男に生まれて、女に生まれて良かったと思える町

9 その他の自由意見

- ▶ ご意見ありがとうございました。今後の施策、取組等の参考とさせていただきます。
※原則として、原文をそのまま掲載しています。

<ul style="list-style-type: none"> • どんな会合でも男女比 7:3 以上にする 女性の多い職場でも5:5ではなく7:3に近づける 裁判員裁判を参考に
<ul style="list-style-type: none"> • 単に性別平等を目指すだけでなくすべての人が自分らしく生きられる社会を実現するための取り組みが男女共同参画。その実現には個々人の意識改革と社会全体の協力が必要。是非実施された政策を検証して時代に合わせた改善を行ってほしいと思っております。学校の生徒会の中に「男女共同参画委員会」を設け、生徒が自主的に課題を探し、解決策を提案する場を作る。理解が不足している大人に対しては成功事例の紹介、子ども、大人、行政で継続的に取り組んでほしいです。本当に多度津町は素晴らしい町です。
<ul style="list-style-type: none"> • 私たちの年代ではやはり男性は家事をあまりしない人が多いと思います。若い人だけでなく、そういう年代の人にも男女関係なく家事をすることの必要性をあらゆる機会に PR していくことが大切だと思います。また、段々高年齢の人が増えていって、自分でできることはちゃんとする。けれども、支援が必要な事もあるので、そこは相互に扱いは町が支援の場を作ってくれたらと思います。私も含めて元気な老人(?)が割といるので、シルバーだけでなく、マンパワーを上手に利用して町が住みやすい町になるようになればなあと思っています。まとまりがありませんが思いつくままかきました。
<ul style="list-style-type: none"> • 妻・嫁・女性・母等、色々な立場で「こうあるべき」と自分で思いこみ、周囲からもそのようにみられて生きづらく、自分らしさを出せないまま生きてきたように思う。男だから女だから・・ではなく、人としてお互いができることで支えあって生きていけたらと思う。不登校や引きこもってる人が、必要な教育を受けたり働けるための支援が受けられるよう行政や地域で

<p>取組みができればよいと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> 女性が生産で重要な決定の場にほとんどいない事で、なかなか日本社会が変化できないのではないかと考えています。これを変えるためには、学校教育で男女共同参画の重要性を何度も教えて新しい価値観を子どもたちに当たり前の事として浸透させることが重要だと思っています。女性が社会に出やすいようにルールを変更することはもちろん、男性の今の働き方を変えていく必要があると考えます。そして、子育てや介護などの家庭の事情があったとき際に問題なく休むことが出来、また復職できる社会になる必要があると思います。そのことで、町政ができることは限られると思いますが、県や国にはできないミクロでの住民との関りをする事で草の根からでもこの国を変えていくことに繋がっていくと思います。
<ul style="list-style-type: none"> 今の現在でも男女平等はなかなかきびしく、でも女性が働きやすい環境作りは必須です。正社員として女性が働ける会社、世の中をもっと役所で企業に向けて発信して行ってほしいと思います。子育て世代はどうしてもパートとして働く選択になりもっと福祉環境を良くして行って、保育士、介護士さんにも手厚い仕事のしやすい状況を作っていて欲しいですね。
<ul style="list-style-type: none"> 私は70歳の世代である為、まだ男性優位の考え方が変えられないのが実際の意見である。しかし、若い世代の方は男女平等を考えるようになってきていると感じている。町として、子育て支援の施策を推進して女性の負担を軽減できるようにしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> このアンケート結果をブラックボックス化せずにオープンにしてください。多度津町として優先順位をつけて「いつまでに、どのような方策を行う」という意思表示をしてください。くれぐれもアンケートで終わりにしないでください。今のままでは多度津町はジリ貧になる。次の世代に渡せない！
<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画についての町ではこんなことはこの窓口で相談を受け付けている等、町でしていることの PR をもっとしていくべきだと思う。学生から高齢者まで町ではこんなことをしているのを知っている人は少ないと思うので。また、冊子を作って手元に配布して DV 等があったとき、すぐ動けるようにしていったらいいと思う。DV 等命にかかわってくることもあるので、安心を持つようにしていくのも大切かなと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 正社員としてフルタイムで働いているが、職場では定年後再雇用の形で同じ仕事内容をしている方がいる。長く働き続けるために、皆同じように働かないといけない、といった風潮ではなく、家庭や体調等の個々の事情を分かち合い、柔軟な形で働き続けることができればいいと思う。また、何を優先し、どう働きたいかは自分が模索しながら決めていくものだと思う。
<ul style="list-style-type: none"> 男性だけが、女性だけが、優遇(割引とか)や冷遇されるようなことが行政だけでなく民間でもまだ残っている。考えが多様化しすぎなのではと思うところもあるが、それで救われる人もいることも事実。難しい問題ですが、これ

<p>からも町のためによろしくお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ <DV> 被害者に目を向けるのは当然です。しかし、根本解決にはなりません。本当に住みやすい日本にするためには DV をする人を減らす事ではないでしょうか。そのためになぜ DV をしてしまっているかしっかり知る必要があると思います。ルールや規則や罰則ではなくならないと思います。気の遠くなる取り組みかと思いますが結果それが一番近道だと思います。古き日本人の心を育てれば、少しは解決に近づく気がします。<男女平等> そもそも男性と女性では役割が違うのでなにが平等でないかを定めることが難しいと思います。満たされていない片方の不平不満を優先したり耳を傾けたりするよりも両方満たされる教育が必要です。 <p><ワークライフバランス> 各企業に置き換えた時の社内におけるワークライフバランスは、よく勘違いをしているなど感じるのは社内ですっきり役割や責任を果たしたうえで権利を主張するならわかりますが、多くの人々は役割や責任を果たさずしてワークライフバランス(権利)を主張するから自分の価値を更に下げたしまい、生きにくい世界を自分で作っているように思います。ほとんどの人は少なからず、僕より優れている人々なのに見ていて非常に残念です。私は、中学生の学力テストで 232 人中 200 番を切ることができないほどの学力でした。しかし今はすごく幸せです。2001 年多度津中学校卒業生</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ こういうアンケートを取って満足してはいけない。施策は女性にもたくさん参加して作ることを望む
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等にはよいけれど、全てがそうでなくて良いと思う。各家庭個人で求めるものは異なるので必要などところに必要な支援がなされればよいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 私の世代は学校で技術、家庭と男女が分かれて授業を受けていました。今は男女ともに家庭科を習うようなので少しずつでも男女の差というものは縮まっていくのではないかと思う。あと、就職氷河期世代の私たちの中には、貯蓄もなく、頼れる親や子ども、親類もいない人が増えていると思うので、私たちの世代で何か助け合う仕組みのようなものが出来ればよいなと思う。男女の格差はだんだんなくなっていくかもしれないが、世代間格差や貧富の差はこれからひらいていきそうなので、それぞれの人がそれぞれの立場で、次の世代に負の遺産をなるべく残さないように自立して支えあっていくのが理想かな。人と人をつなぐのに、今ならスマホのアプリや AI などが活躍しそうではあるが、データセンターにかかる電気代や様々なコスト、大規模災害が起こった時などを想定して、たとえ電気が止まってもつながれる仕組み、掲示板や音声放送などは、いつでも使えるようにしておいた方がよいと思う。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後のことは心配しなくても過ごせる町作り。介護施設の増設、ケアマネジャーの増員、介護職員の増員支援を願っています。これも男女共同参画に

<p>寄与するひとつだとおもいます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、育休について主人と話したときに「仮に男性が育休をとって、女性が仕事に行くとすると、女性の方が給料が少ないのに生活できるわけないやん！！」と言われてしまったことがあります。そんな極端な話ではなく少しでも育児を手伝ってもらえたらと思ったのですが、主人の中では「男性が育休をとる」というのが考えられないようでした。近年、男女平等や男女共同参画という言葉で以前よりはよく耳にするようになりましたが、実際にそうであるかと聞かれたらまだまだな部分もたくさんあると思います。一人一人の意識改革が必要なのかなと私は思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育の中では男女差別はあまり感じませんでした。職場では多少感じることはありましたが、個人差の方が大きかったように思います。ただ、地域や家庭においては、かなり個人差があるように思います。どのように呼びかけや教育をしていけばいいのかはよくわかりませんが、家庭内のこととなると難しいことが多いのかもしれないと思います。私たちの世代で当たり前であった嫁の立場が少しずつ変化していくことはありがたいことだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 貧困の差は学校の教育ですでに差が出ています。学校だけの授業では進学、就職ができないと思います。塾や習い事をしていないと学業がついていきません。進学ができないと就職もつけない人がふえていくのではないのでしょうか。男女全て平等にする考えには反対です。多度津の小中学校では、体育をするのに更衣室がありません。小学校から性教育の知識と女性を守るためにも更衣室で着替えはできた方がいいのではないのでしょうか。職場の有給日数をふやしてほしい。または学校の懇談会は土日を入れてもらえれば有給やシフトで休みを取らなくてもよくなる。子どもが病気になると休みが必要になるため。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性・女性で区別するのではなくて、人間とし評価をすることが大事だと思う。今までの施策だと女性(子ども)は守らなければいけない存在だと思われていて、どちらかと言えばそういう法律や施策が多いように思います。私は女性であります。世の中では性を超えて男性も守られるべき人としての存在だと思います。私たちの世代の男性は特に親の世代から「男はなくな、強く女子供、弱い人を守るんだ」と言われて育っています。だからか、辛くても弱音を吐けずにしんどい思いをしているように思います。男性も女性も老人も子どもも皆が辛いときは弱音を吐き、助けてもらい、また、人生を生き返らせ、自分が元気になったらしんどそうな人の話を聞いてあげ、力になれることは力になり、皆が生きていてよかったと思えるような世の中になればいいのになと感じています。町行政の皆様には町民にはいろんな人がおり、対応が大変かもしれませんが、怒っている人の話を聞いてあげてください。最初は怒り心頭に達している人も根気強く聞いてあげれば落ち着いて話ができ何が問題なのかかわかると思います。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女の特性を理解した行政を行って下さい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 経費がかかるが、できるだけ多くの人に意見収集してほしい。今後、重要な課題だが充実してほしい。この質問したことについて充実してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性にとってかなり生きやすい世の中になっていると思いますが、その反面、男性にとって過ごしにくい、やりにくくなったことも増えていると思います。育児、出産を考える女性も少なからず男性に協力していただければならないことを理解したうえで理解を求めるべきだと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ どの性別も年代も生活し易い町になる様をお願いします。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女問わず、個々に出来る事を支援すること。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長さんも女性が立候補出来るといいと思います
<ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発ポスターなどはやめてください。DVや性犯罪を行う馬鹿はそんなもの見ても何も感じませんし、まず見ません。安い金でたくさん作れて配ってるだけでやってる感出ますが、あれ 100 種類作るぐらいなら監視カメラ 1 個置いて、置いたことを報道したほうが抑止になると思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当に必要な事なのか？自分たちの親世代(昭和)は今より貧しかったと思うがそれでも幸せな感じる。今の時代、
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行き過ぎた優遇措置はいらない。既に共同参画の下地はある中でそうならないとすれば、男女が共に望んだ状態だと考える。声の大きさではなく声の量で行政は進めてほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ どの世代でも利用できるような育児などに対する支援を充実させてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 性別より、能力を重んじる時代になっていると思う
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状仕事に復帰しても、子供の用事で休む事も
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男女平等の理念は非常に大切ですが、それは機会や能力に見合った結果が公平であるべきで、女性の要望や能力に見合っていない人数合わせの女子枠は男女平等ではないでしょう。また近年、過激な男女平等論によって男女の対立が煽られているように思えます。男女共同参画においてはその様な副作用にも留意していただきたいです。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職場は理解してはくれない。辞めるにも職員が居ないから辞めれない休めない。パートで週 5 勤務は子供の用事で現状無理。働いた量と時給は見合っていない。17時までの仕事勤務でも定時で上がれない仕事で働いてもモラハラもパワハラもなくなり、見て見ぬふり。その言葉をぶつけられた人が我慢するしかなくそれがありまへの職場。そのストレスを抱えたまま子供を迎えにいき家に帰っても家事をしてワンオペ。時給は少ない、世間は物価が上がるから節約はしないといけない、これが現状です。